

美郷町
子どもの成長環境に関する
アンケート

—調査結果報告書—

令和6年10月

美郷町

一 目 次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の実施状況.....	1
3. 報告書の見方.....	1
第2章 児童生徒保護者調査結果.....	2
1. 世帯の状況について.....	2
(1) 居住地区.....	2
(2) 世帯の状況.....	2
(3) 同居家族の状況.....	3
(4) 就労している同居者.....	4
(5) 主な生計者.....	4
(6) 父母の就労形態.....	5
2. 家計の状況について.....	7
(1) 世帯の年収額.....	7
(2) 子どもにかかる費用.....	9
(3) 経済的な困窮状況.....	16
(4) 経済的理由で断念したもの.....	20
3. 子育て環境に関する要望について.....	22
(1) 子どもの教育に関する心配ごと.....	22
(2) 放課後の居場所づくりで充実してほしいこと.....	23
(3) 子どもに受けさせたい教育段階.....	24
(4) 進学を断念する可能性.....	25
4. 町の子育て支援の取組について.....	26
(1) 子育て環境や支援への満足度.....	26
(2) 子ども・子育て支援への不満.....	27
(3) 公的機関への相談状況.....	29
(4) 各支援制度の利用状況.....	30
(5) 子どものよりよい成長に必要な支援.....	31
第3章 児童生徒本人調査結果.....	32
1. 回答者自身について.....	32
(1) 学年.....	32
(2) 健康状態.....	32
(3) 生活の満足度.....	33
2. ふだんの生活について.....	34
(1) 学校への登校状況.....	34
(2) 楽しいと思う場面.....	35
(3) 放課後の過ごし方.....	37
(4) 孤食の有無.....	39
(5) 家庭での学習時間.....	40
(6) 家族等の世話や仕事の手伝いなどの状況.....	41
(7) 児童生徒の生活環境.....	43
3. 自分の気持ちや悩みごと.....	45
(1) 困っていることや悩みごと.....	45
(2) 悩みごとの相談相手.....	47
(3) 自分についての評価.....	48

(4) 将来の進学希望段階.....	51
(5) 社会貢献への意向.....	52
(6) 町への定住意向.....	53
(7) 美郷町に住みたくない理由.....	54
4. 子どもが意見を表明する権利について.....	55
(1) 認知状況.....	55
(2) 自分の意見を伝えやすい場所.....	56
(3) 自分の意見を伝えやすくするための工夫やルール.....	57

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

新たな計画の策定に向け、小学5年生と中学2年生の子どもを持つ世帯の意識や現状の把握、課題の整理等を行うためアンケート調査を行いました。

2. 調査の実施状況

① 調査期間

令和6年7月

② 調査方法

種別	調査方法
町内の小・中学校に通っている子の世帯	各小・中学校での直接配布・回収
上記以外の世帯	郵送配布・回収

③ 調査対象

町内在住の小学校5年生・中学2年生の児童生徒と保護者：244件

④ 回収状況

	発送数	有効回収数	有効回収率
児童生徒の保護者	244件	202件	82.8%
児童生徒本人	244件	203件	83.2%

※本報告書においては、回収数のうち、回答のない白票や回収締め切り後に到着した分を無効票として除外したものを有効回収数として集計を行っています。

3. 報告書の見方

○図表の中のnは回答者の総数を意味しています。設問によっては、回答者が制限される（別の設問である選択肢を選んだ回答者のみ回答する場合など）ため、nの数は一定ではありません。

○比率は、nを100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、表示されている百分比の合計が100%にならない場合があります。

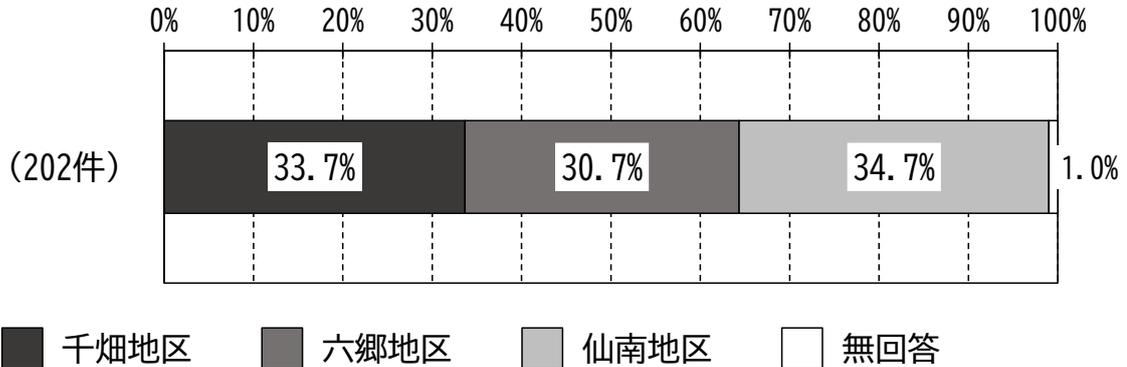
○複数回答が可能な設問では、その比率の合計が100%を上回ることがあります。

第2章 児童生徒保護者調査結果

1. 世帯の状況について

(1) 居住地区

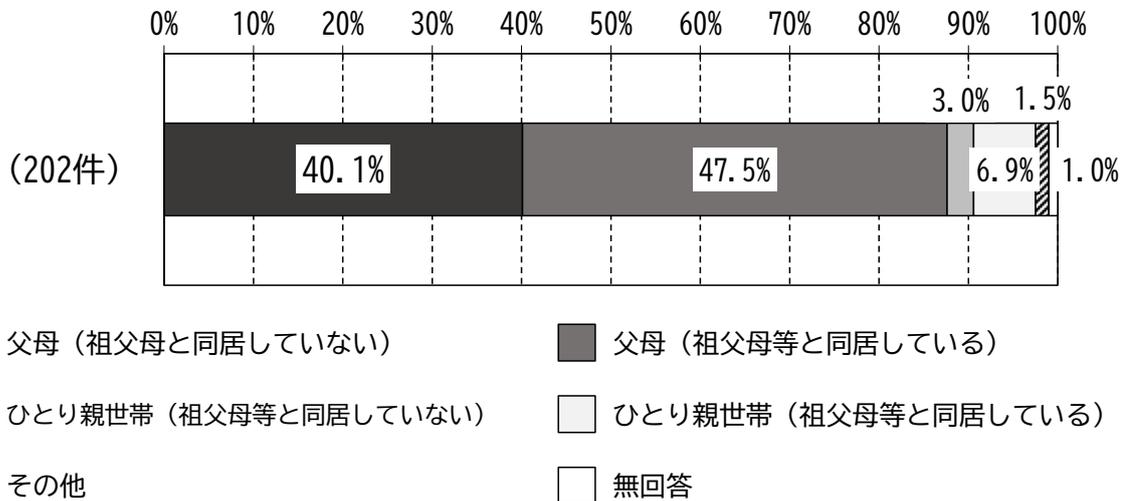
問1 どの地区にお住まいですか。(〇は1つ)



回答者の居住地区は各地区ほぼ均等な割合となっています。

(2) 世帯の状況

問2 (お子さんからみて) 世帯の状況についてお教えてください。(〇は1つ)



世帯の状況を見ると、「父母(祖父母等と同居している)」が43.9%でもっとも多く、ついで「父母(祖父母等と同居していない)」が40.1%となっています。
ひとり親世帯は1割程度となっています。

(3) 同居家族の状況

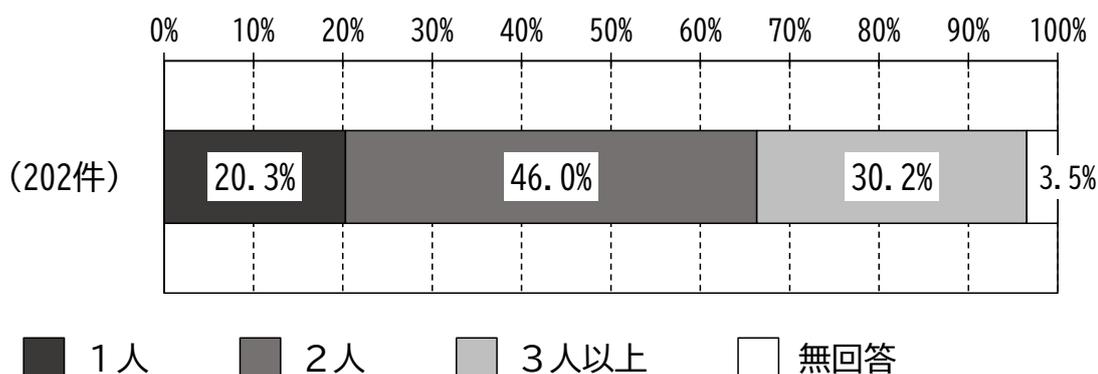
①同居している家族の人数

問3 現在同居されているご家族全員の人数をお答えください。
(回答欄に人数を記入・アンケート対象のお子さんを含む)

	n	1人	2人	3人以上	無回答	平均
①未就学児(0~5歳)	100.0%	15.8%	0.0%	0.0%	84.2%	1.0人
	202件	32件	0件	0件	170件	
②小学生	100.0%	47.0%	19.3%	4.0%	29.7%	1.4人
	202件	95件	39件	8件	60件	
③中学生	100.0%	56.4%	3.5%	0.5%	39.6%	1.1人
	202件	114件	7件	1件	80件	
④高校生等	100.0%	19.8%	0.5%	0.0%	79.7%	1.0人
	202件	40件	1件	0件	161件	
⑤19歳以上の子	100.0%	5.9%	2.0%	1.0%	91.1%	1.6人
	202件	12件	4件	2件	184件	
⑥父母	100.0%	8.9%	84.2%		6.9%	1.9人
	202件	18件	170件		14件	
⑦父母以外の大人	100.0%	11.9%	33.2%	10.9%	44.1%	2.1人
	202件	24件	67件	22件	89件	

同居している家族の状況を見ると、小学生のいる世帯や中学生のいる世帯が多く、父母のうちどちらかしかいない世帯は8.9%となっています。

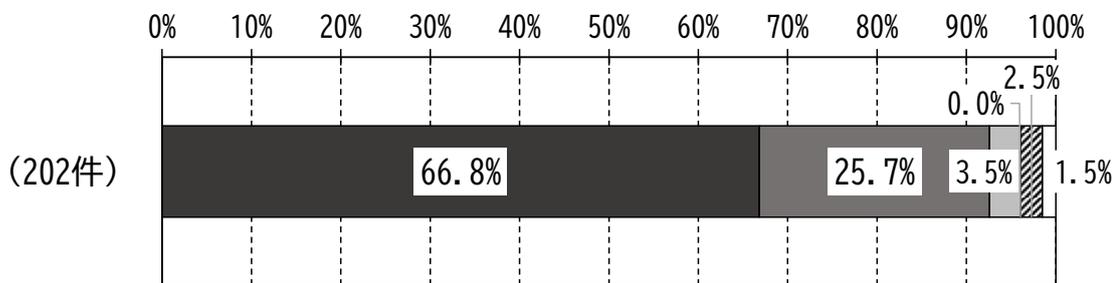
②一世帯あたりの子どもの人数



18歳未満の子どもの状況を見ると、1~2人が6割以上を占めています。

(4) 就労している同居者

問4 (お子さんからみて) 同居しているご家族の中で働いている方はどなたですか。
(○は1つ)



- 父母 (またはどちらか)
- 父母と祖父母
- 父母と祖父母以外の大人
- 働いている家族はいない
- ▨ その他
- 無回答

就労している同居者については「父母 (またはどちらか)」が66.8%でもっとも多く、ついで「父母と祖父母」が25.7%となっています。

(5) 主な生計者

問5 (お子さんからみて) 主にご家族の生計を支えている方はどなたですか。(○は1つ)



- 父親
- 母親
- 祖父
- 祖母
- ▨ その他親族
- ▨ 兄・姉
- ▨ その他
- 無回答

主な生計維持者は「父親」が82.2%と8割以上を占めてもっとも多くなっています。
「母親」が主な生計維持者という回答は9.9%となっています。

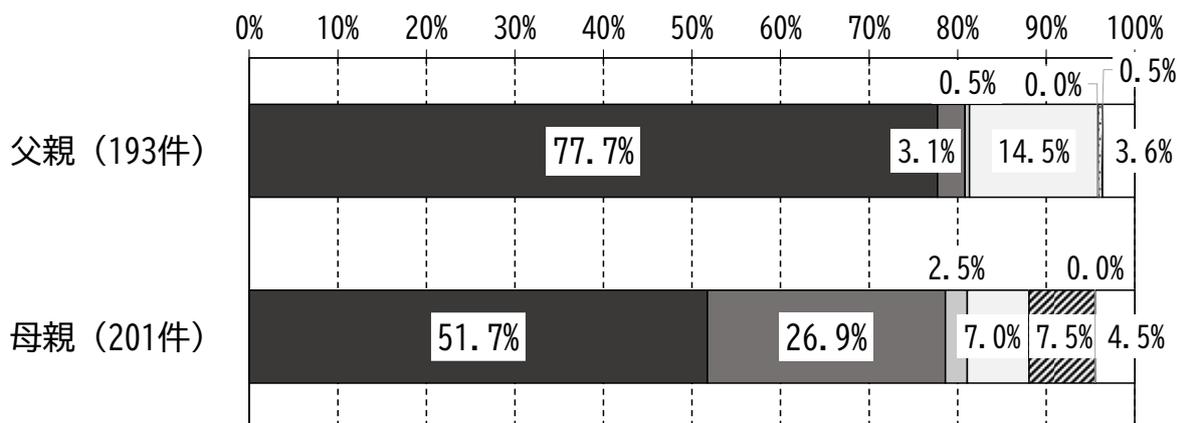
【属性別にみた回答傾向】

		n	父親	母親	祖父	祖母	その他親族(おじ・おばなど)	兄・姉	その他	無回答
全体		100.0%	82.2%	9.9%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%
		202件	166件	20件	12件	0件	0件	0件	2件	2件
世帯の状況	父母(祖父母と同居していない)	100.0%	93.8%	6.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		81件	76件	5件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	父母(祖父母等と同居している)	100.0%	86.5%	3.1%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	1.0%
		96件	83件	3件	7件	0件	0件	0件	2件	1件
	ひとり親世帯(祖父母等と同居していない)	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		6件	0件	6件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
ひとり親世帯(祖父母等と同居している)	100.0%	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	14件	4件	6件	4件	0件	0件	0件	0件	0件	
その他	100.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	3件	2件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	

世帯の状況別にみると、ひとり親世帯(祖父母等と同居している)では、主な生計維持者が「母親」の場合が42.9%、「祖父」が28.6%となっており、「母親」と「祖父」がそれぞれ家計を支えている状況となっています。

(6) 父母の就労形態

問6 父母の就業形態をお教えてください。(それぞれ0は1つ)

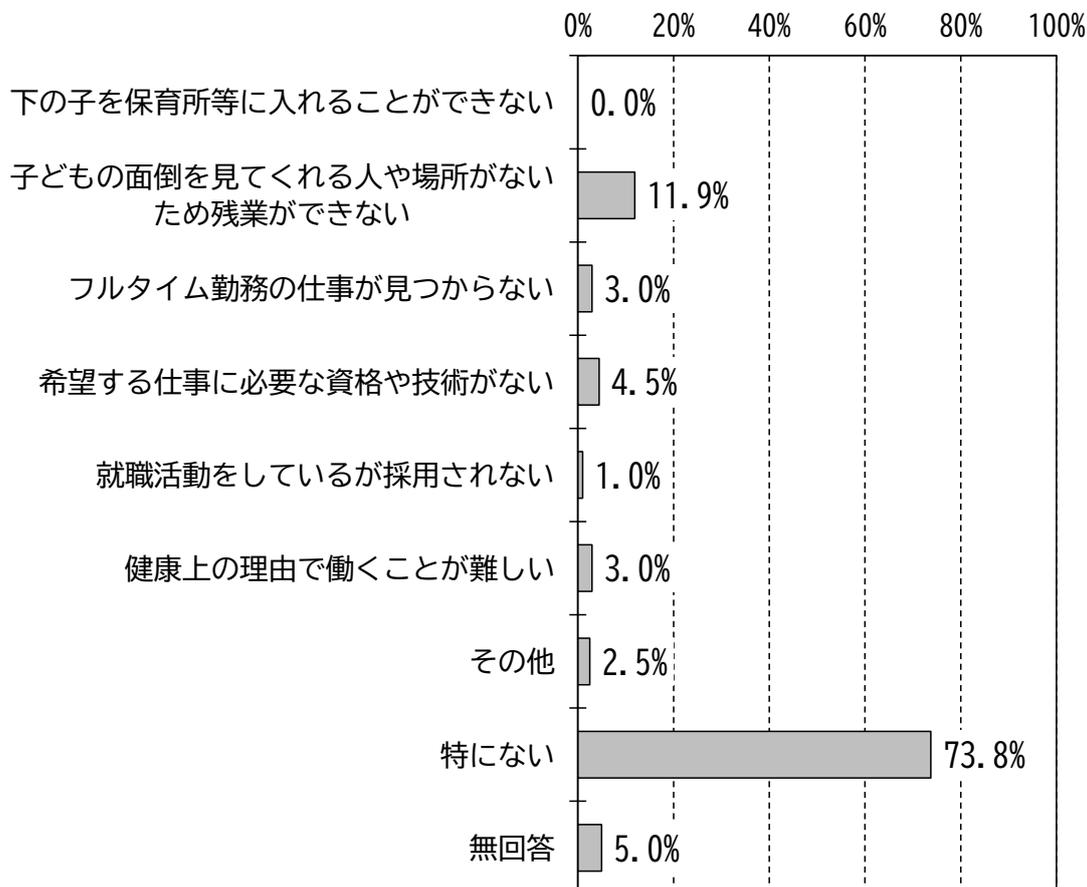


父母の就労形態をみると、父母ともに「正社員・正規職員」がもっとも多くなっています。母親の場合、「正社員・正規職員」は51.7%で、「パート・アルバイト等」も26.9%を占めています。

②就労に関する困りごと

問7 就労に関して困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

(202件)



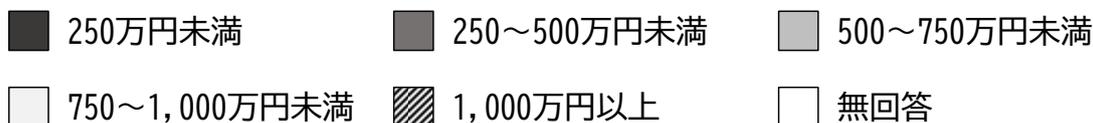
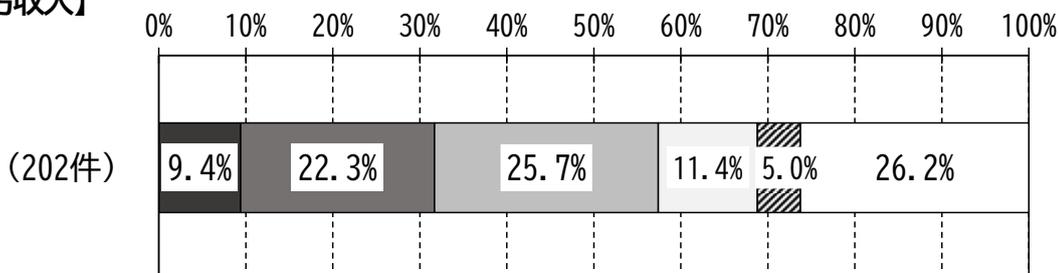
就労に関して困っていることとしては、「特にない」が73.8%でもっとも多くなっています。困っていることとしては、「子どもの面倒を見てくれる人や場所がないため残業ができない」(11.9%)などが挙げられています。

2. 家計の状況について

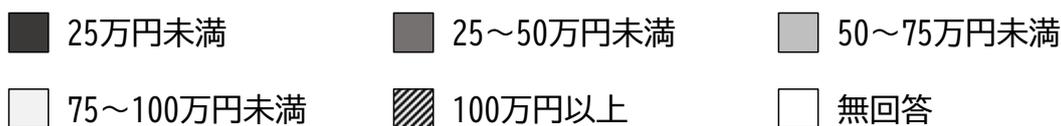
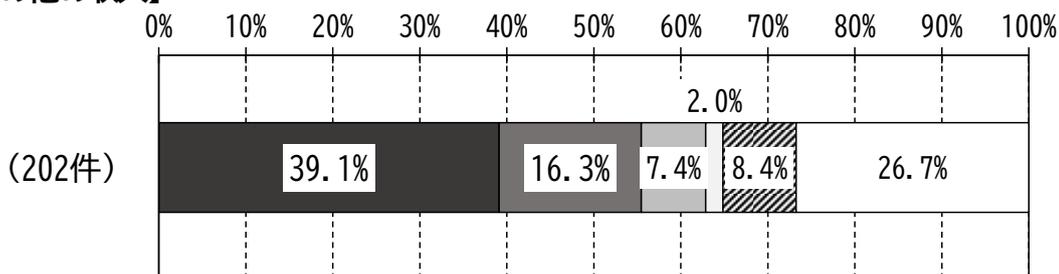
(1) 世帯の年収額

問8 世帯全体の昨年の年間収入（手取り額）は、およそどのくらいですか。（回答欄におおよその金額を記入）

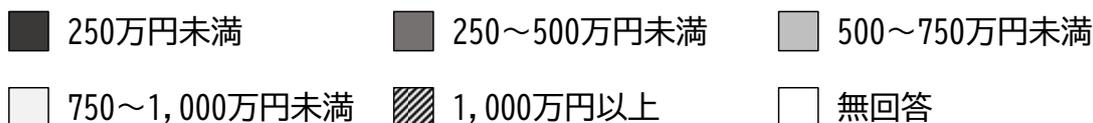
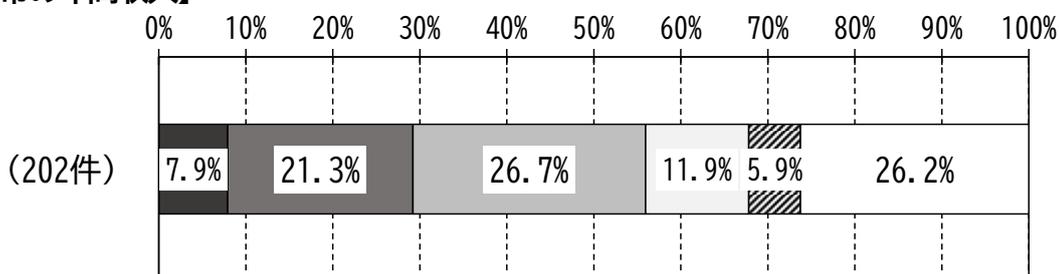
【就労収入】



【その他の収入】



【世帯の年間収入】



就労収入は平均517.0万円、その他の収入は平均38.0万円となっており、合計した世帯年収は平均554.8万円となっています。「250万円未満」は7.9%となっています。

【属性別にみた回答傾向】

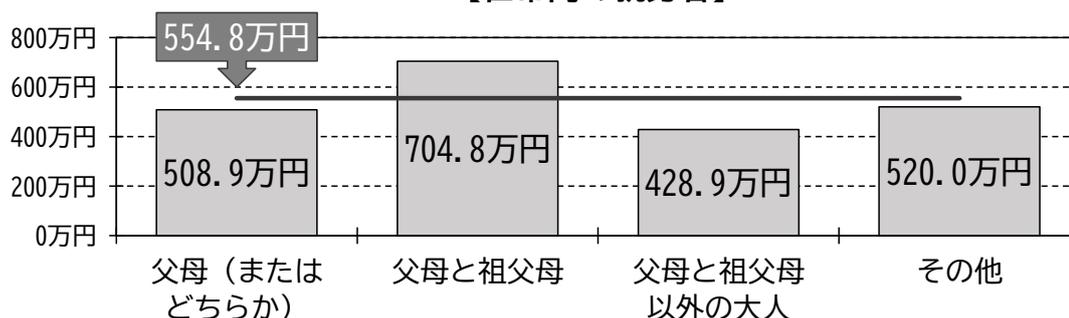
【世帯の状況】



世帯の状況別に世帯の年収額をみると、ひとり親世帯（祖父母等と同居していない）の年収がもっとも低く、平均で199.4万円となっています。

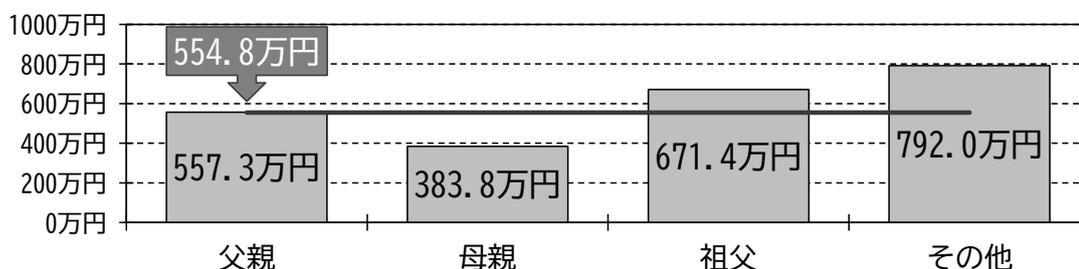
父母（祖父母等と同居している）の年収がもっとも高く、平均で667.3万円と祖父母と同居していないひとり親世帯の3倍以上となっています。

【世帯内の就労者】



世帯内の就労者別に世帯年収をみると、「父母と祖父母以外の大人」の場合428.9万円で他の世帯よりも世帯年収が低くなっています。

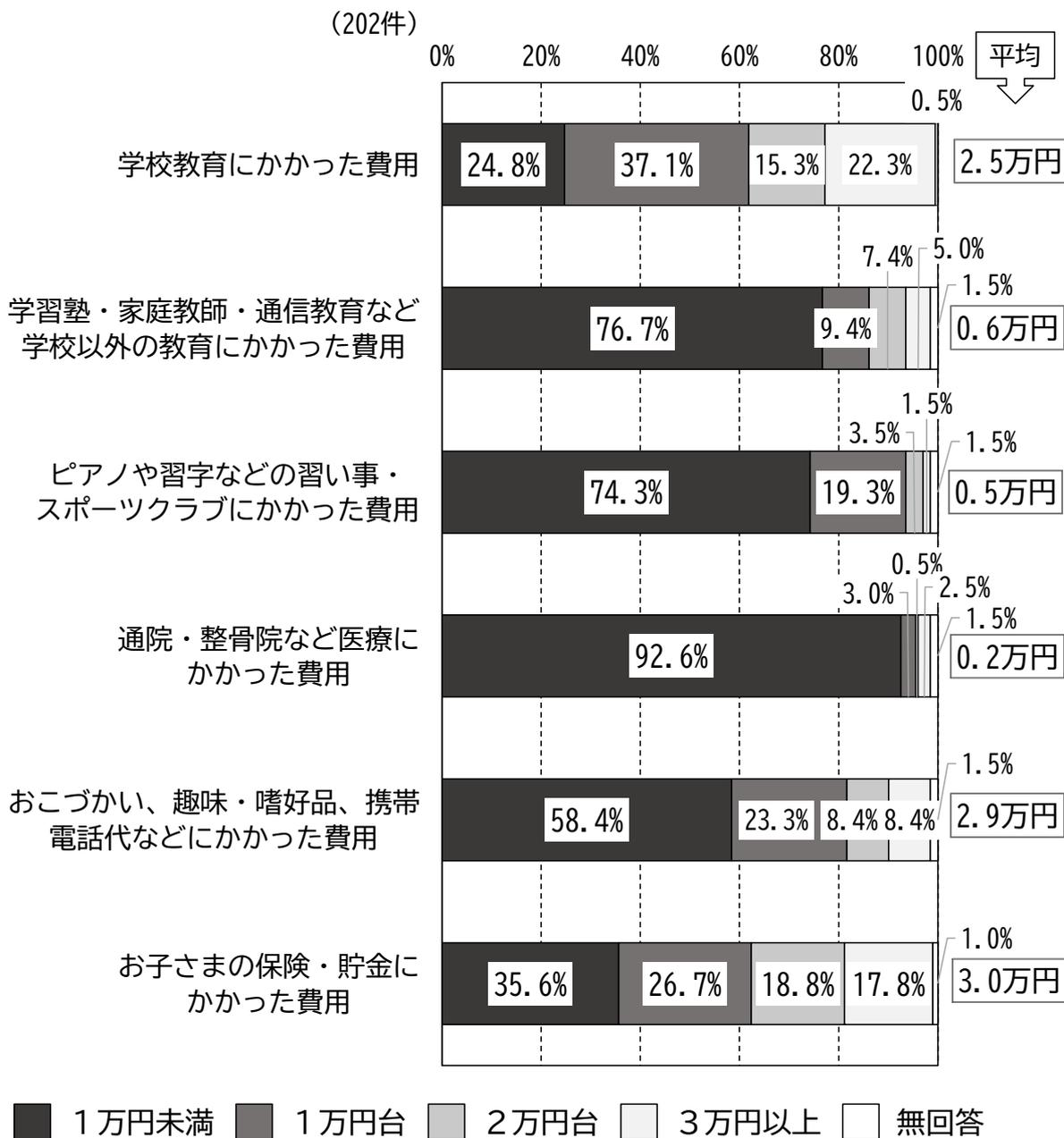
【主な生計者】



生計の主な担い手別に世帯の年収額をみると、母親の場合は383.8万円と、母親が主たる生計維持者の場合は父親の場合よりも年収は低くなっています。

(2) 子どもにかかる費用

問9 ここ1か月の間に、アンケート対象のお子さんにかかった費用のおおよその金額を教えてください。

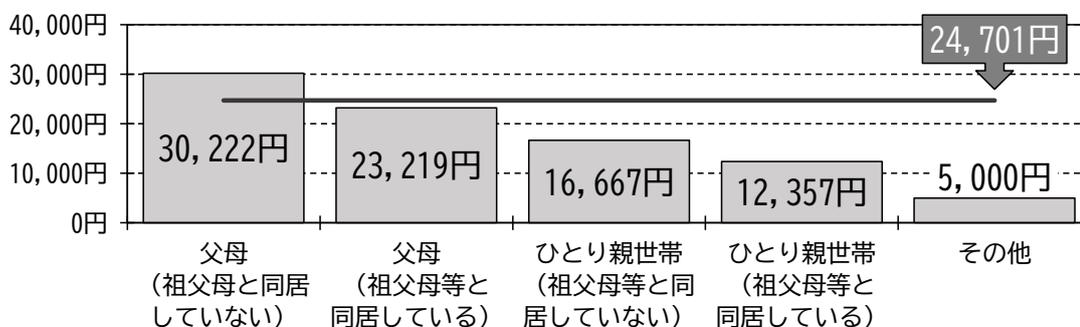


直近1か月間に調査対象となった子どもにかかった費用をみると、お子さまの保険・貯金にかかった費用が平均3.0万円、おこづかい、趣味・嗜好品、携帯電話代などにかかった費用が2.9万円、学校教育にかかった費用が2.5万円で、塾や習いごとにかかった費用よりも高くなっています。

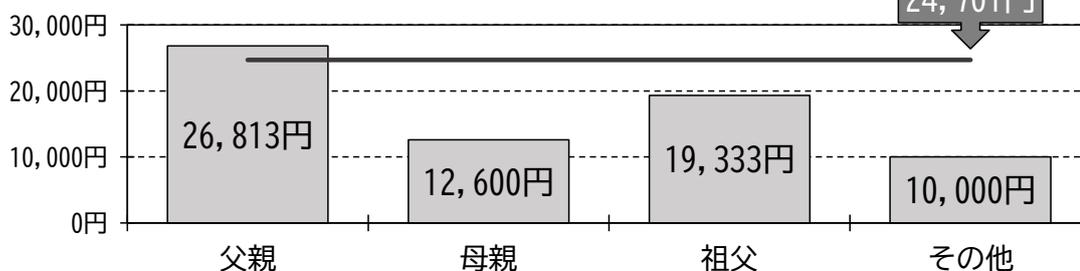
①学校教育にかかった費用（教材費・給食費・部活動費など）

【属性別にみた回答傾向】

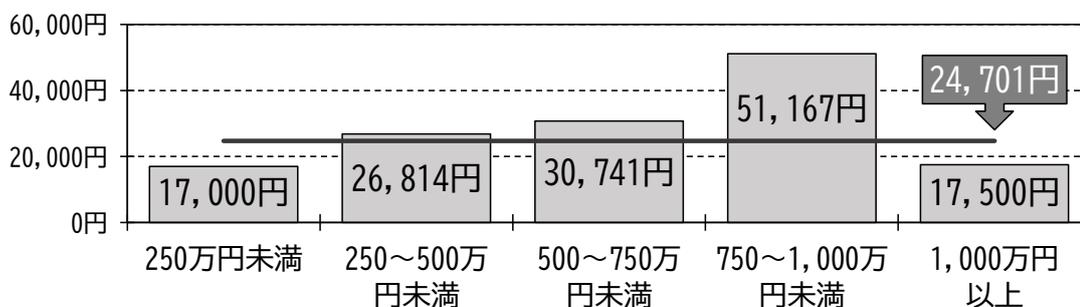
【世帯の状況】



【主な生計者】



【世帯の年収額】

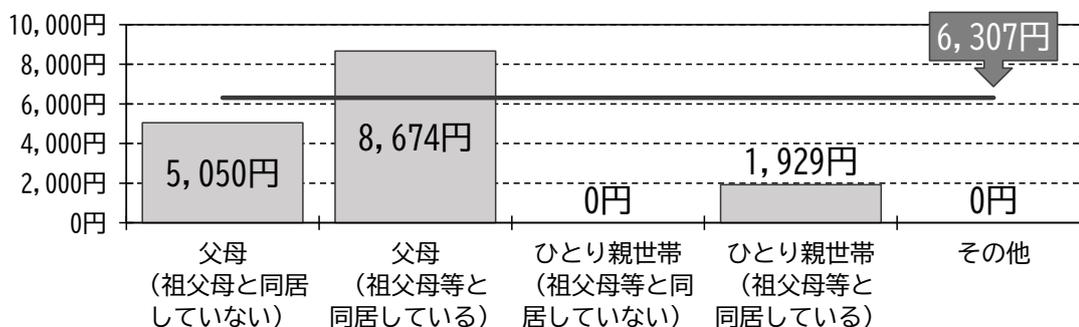


学校教育にかかった費用（教材費・給食費・部活動費など）について属性別にみると、「ひとり親世帯（祖父母等と同居している）」では 12,357 円で他の世帯よりも低額で、主な生計維持者が母親の場合は 12,600 円で、父親の場合の半分以下となっています。世帯の年収別にみると、1,000 万円未満では世帯年収が低いほど学校教育にかかった費用は低額で、「250 万円未満」では 17,000 円となっています。

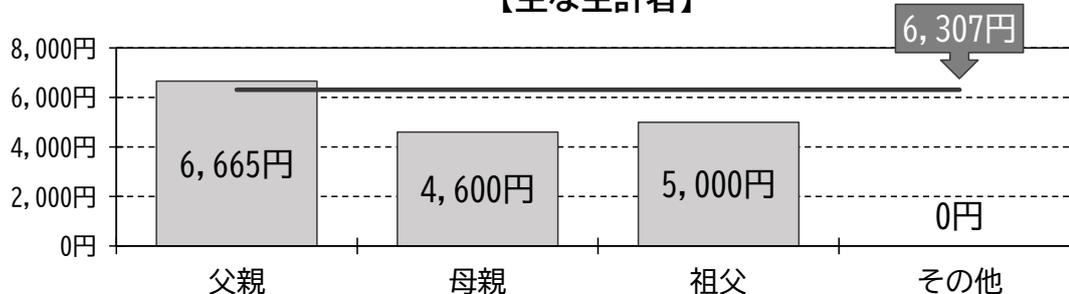
②学習塾・家庭教師・通信教育など学校以外の教育にかかった費用

【属性別にみた回答傾向】

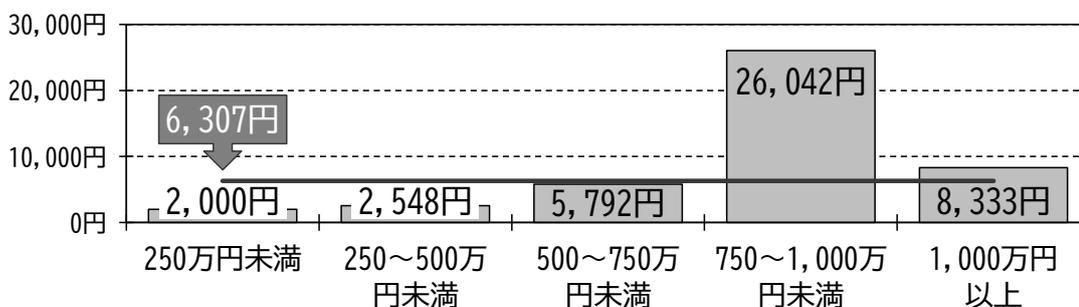
【世帯の状況】



【主な生計者】



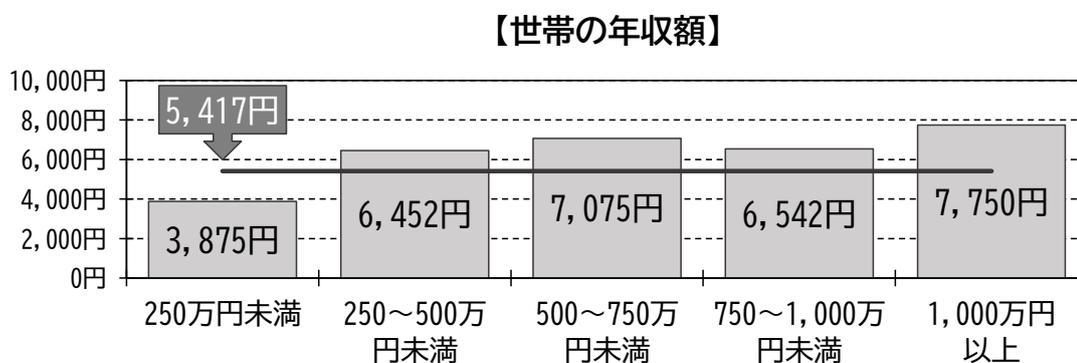
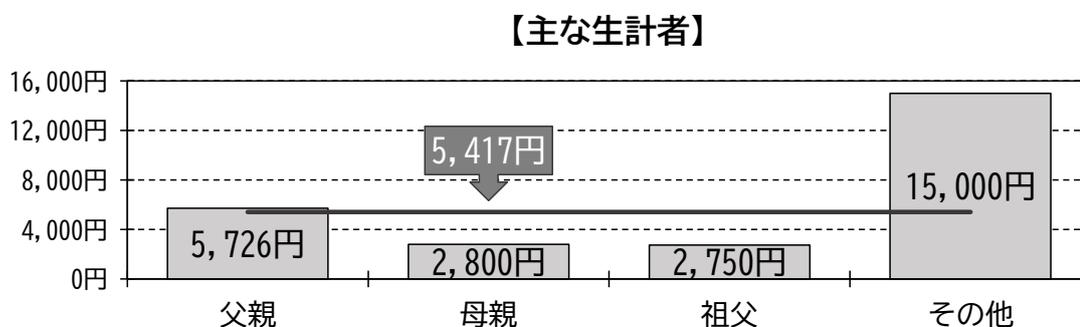
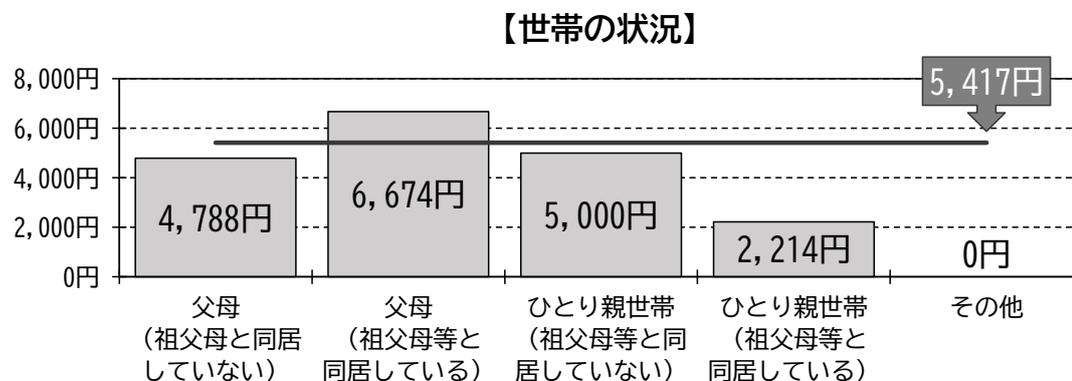
【世帯の年収額】



学習塾・家庭教師・通信教育など学校以外の教育にかかった費用について属性別にみると、「ひとり親世帯（祖父母等と同居していない）」では塾などの利用がなく、主な生計維持者が母親の場合は4,600円で、父親の場合よりも低額となっています。世帯の年収別にみると、1,000万円未満では世帯年収が低いほど低額で、「250万円未満」では2,000円となっています。

③ピアノや習字などの習い事・スポーツクラブにかかった費用

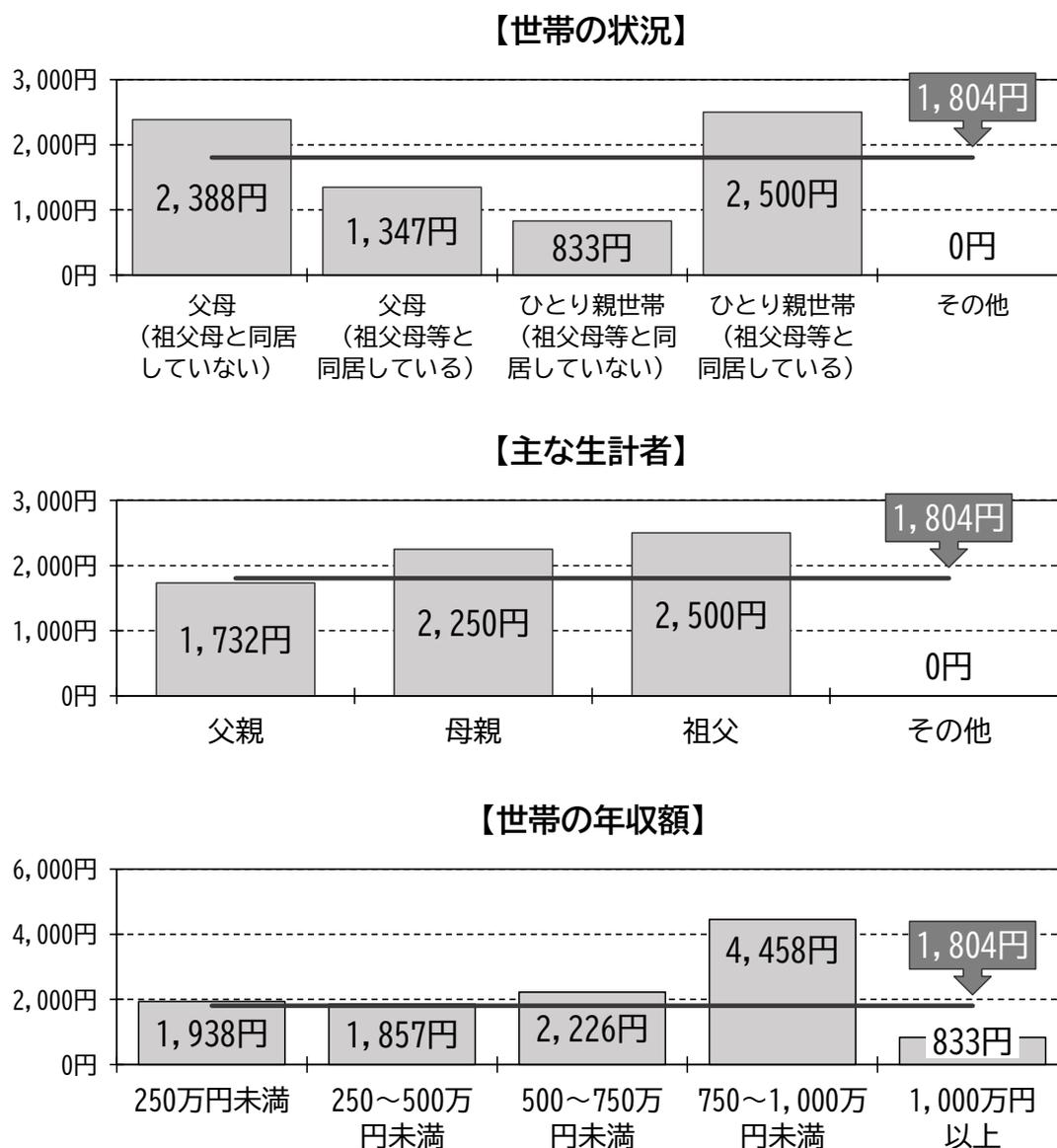
【属性別にみた回答傾向】



ピアノや習字などの習い事・スポーツクラブにかかった費用について属性別にみると、「ひとり親世帯(祖父母等と同居している)」では2,214円で、他の世帯に比べて低額となっています。主な生計維持者が母親の場合は2,800円で、父親の場合の半分程度となっています。世帯の年収別にみると、おおむね世帯年収が低いほど低額で、「250万円未満」では3,875円となっています。

④通院・整骨院など医療にかかった費用

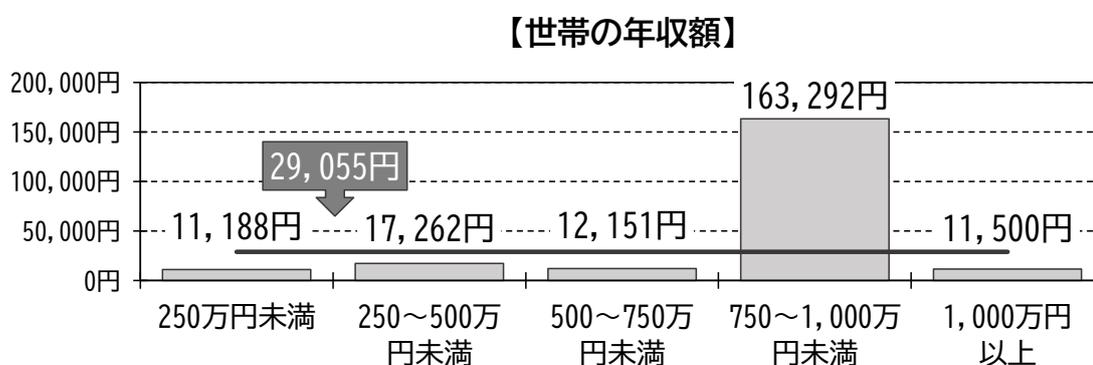
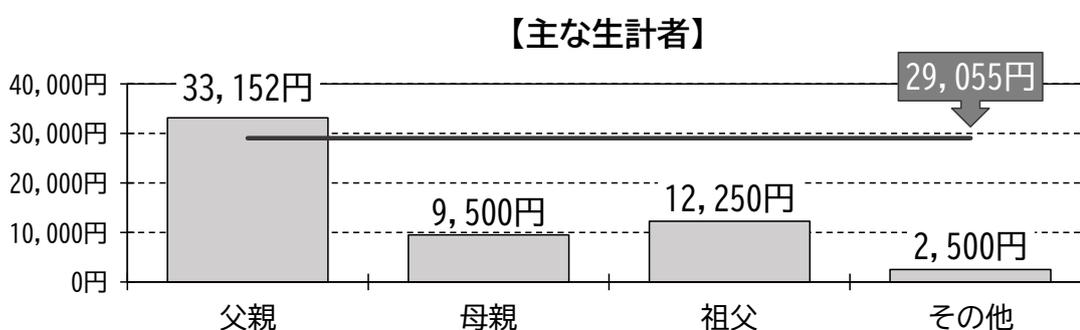
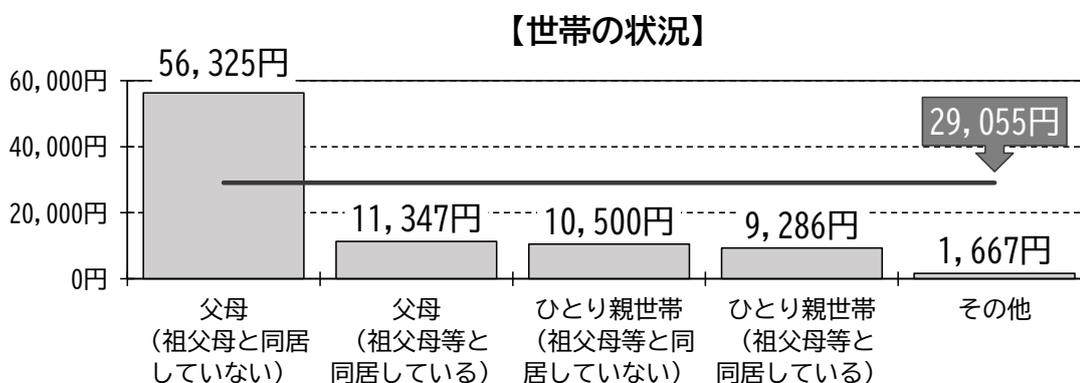
【属性別にみた回答傾向】



通院・整骨院など医療にかかった費用について属性別にみると、「ひとり親世帯（祖父母等と同居していない）」では833円で他の世帯よりも低額となっています。主な生計維持者が父親の場合は1,732円となっています。世帯の年収別にみると、750万円未満ではおおむね2千円前後ですが、「750～1,000万円未満」では4,458円と倍増しています。

⑤おこづかい、趣味・嗜好品、携帯電話代などにかかった費用

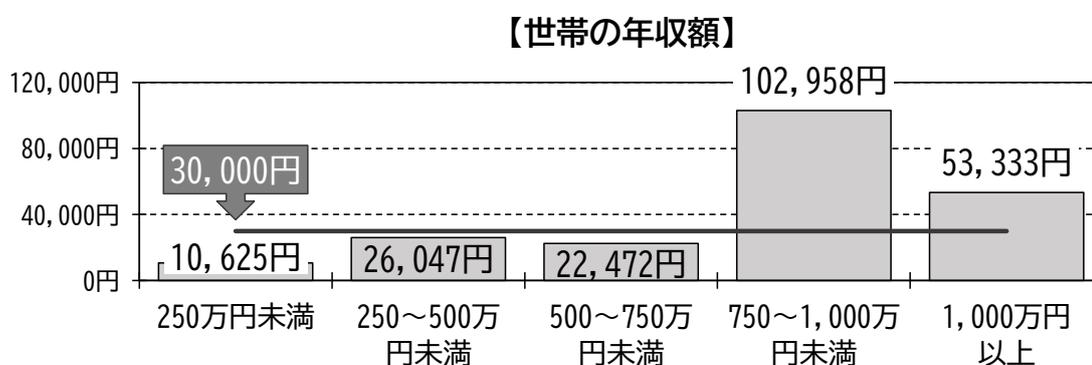
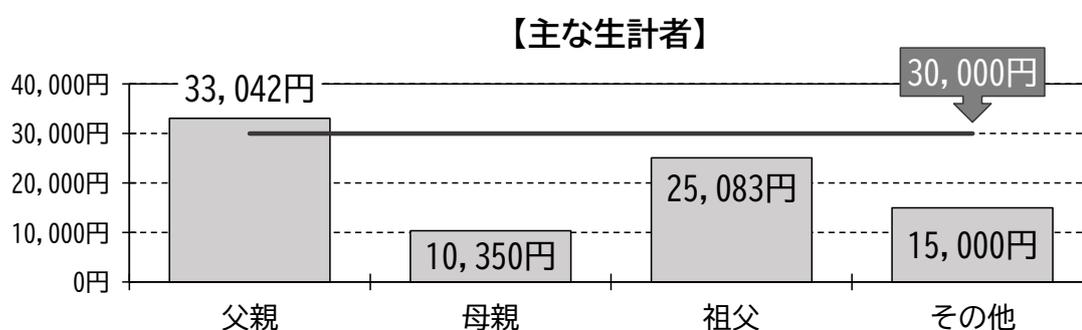
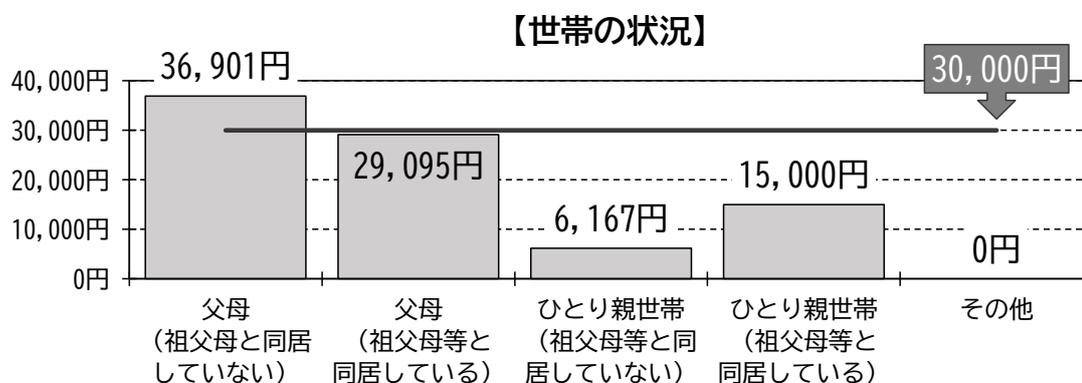
【属性別にみた回答傾向】



おこづかい、趣味・嗜好品、携帯電話代などにかかった費用について属性別にみると、「父母（祖父母と同居していない）」では56,325円となっていますが、他の世帯では1万円前後となっています。主な生計維持者が母親の場合は9,500円で、父親の場合の3分の1以下となっています。世帯の年収別にみると、「750~1,000万円未満」では163,292円と突出して高額となっており、他の世帯では1万円台となっています。

⑥お子さまの保険・貯金にかかった費用

【属性別にみた回答傾向】



お子さまの保険・貯金にかかった費用について属性別にみると、「ひとり親世帯（祖父母等と同居していない）」では6,167円と他の世帯に比べて低額となっています。主な生計維持者が母親の場合は10,350円で、父親の場合の3分の1以下となっています。世帯の年収別にみると、「750～1,000万円未満」では102,958円と突出して高額となっており、「250万円未満」では10,625円となっています。

(3) 経済的な困窮状況

① 困窮の有無

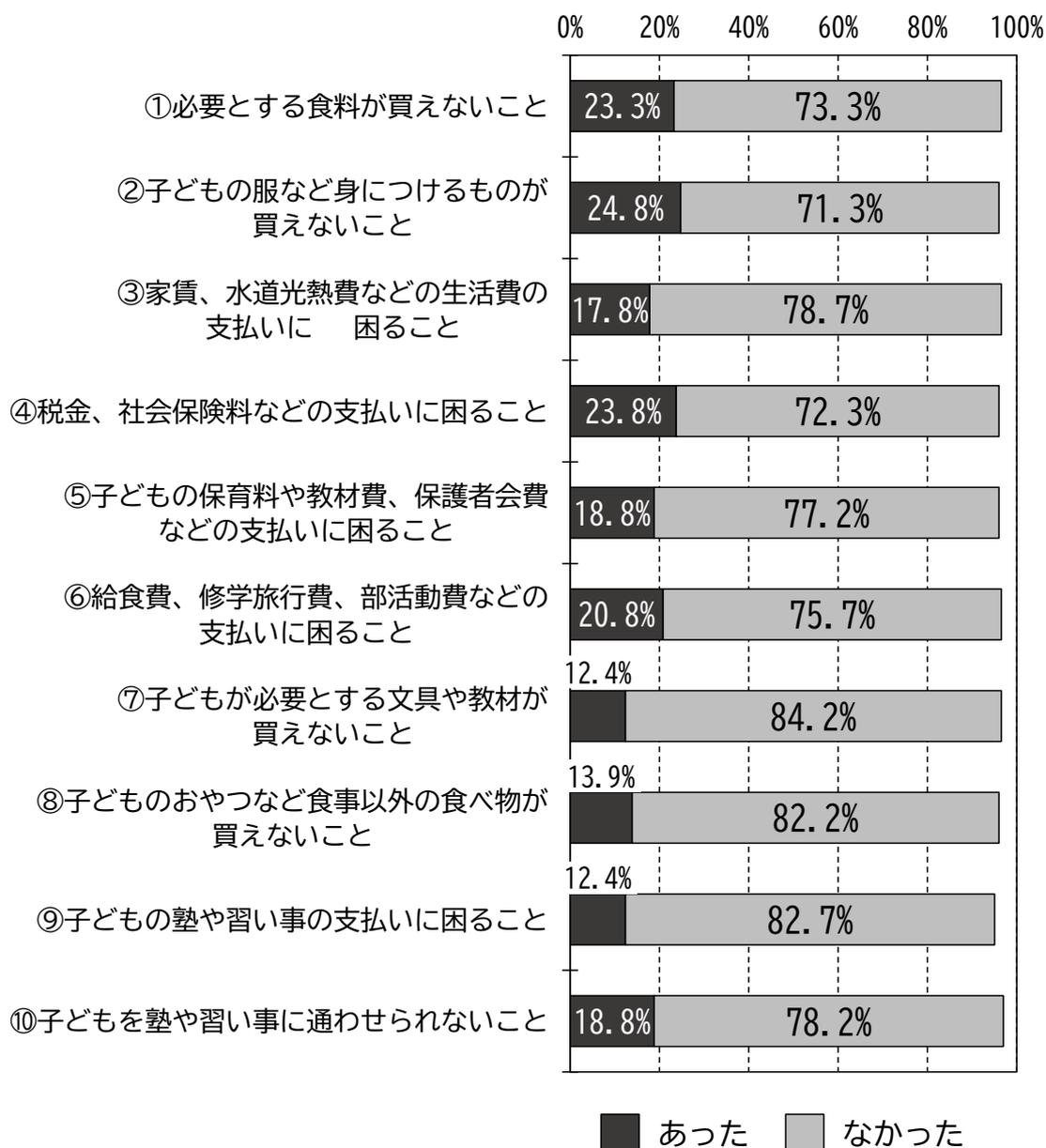
問10 この1年間に、お金が足りなくて困ったことはありますか。(それぞれ〇は1つ)

	n	よくあった	ときどきあった	ほとんど なかった	まったく なかった	無回答
①必要とする食料が買えないこと	100.0%	5.4%	17.8%	31.2%	42.1%	3.5%
	202件	11件	36件	63件	85件	7件
②子どもの服など身につけるものが買えないこと	100.0%	5.0%	19.8%	31.7%	39.6%	4.0%
	202件	10件	40件	64件	80件	8件
③家賃、水道光熱費などの生活費の支払いに 困ること	100.0%	6.9%	10.9%	29.7%	49.0%	3.5%
	202件	14件	22件	60件	99件	7件
④税金、社会保険料などの支払いに困ること	100.0%	7.9%	15.8%	27.7%	44.6%	4.0%
	202件	16件	32件	56件	90件	8件
⑤子どもの保育料や教材費、保護者会費などの 支払いに困ること	100.0%	5.0%	13.9%	32.2%	45.0%	4.0%
	202件	10件	28件	65件	91件	8件
⑥給食費、修学旅行費、部活動費などの支払い に困ること	100.0%	7.4%	13.4%	30.7%	45.0%	3.5%
	202件	15件	27件	62件	91件	7件
⑦子どもが必要とする文具や教材が買えないこと	100.0%	3.0%	9.4%	33.7%	50.5%	3.5%
	202件	6件	19件	68件	102件	7件
⑧子どものおやつなど食事以外の食べ物が 買えないこと	100.0%	3.0%	10.9%	36.6%	45.5%	4.0%
	202件	6件	22件	74件	92件	8件
⑨子どもの塾や習い事の支払いに困ること	100.0%	3.5%	8.9%	30.7%	52.0%	5.0%
	202件	7件	18件	62件	105件	10件
⑩子どもを塾や習い事に通わせられないこと	100.0%	11.9%	6.9%	25.2%	53.0%	3.0%
	202件	24件	14件	51件	107件	6件

生活の場面ごとにこの1年間に経済的に困ったことがあるかどうかについて確認したところ、いずれの項目も「まったくなかった」への回答が多くなっています。

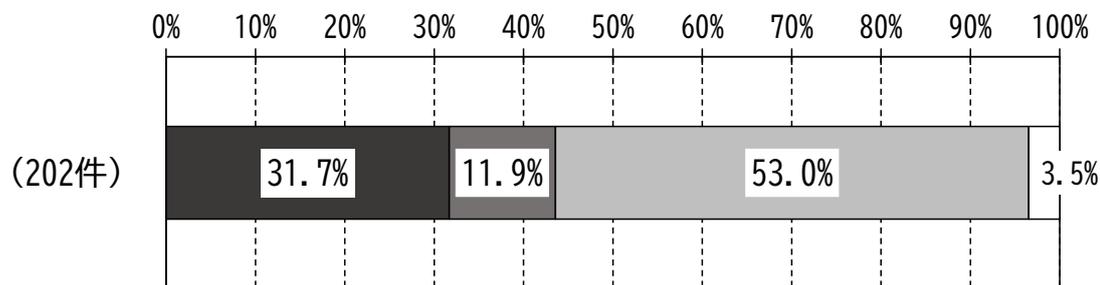
「よくあった」という回答が多かったものは、⑩子どもを塾や習い事に通わせられないことの11.9%となっています。

(202件)



「あった」（「よくあった」、「ときどきあった」）という回答が多かったものは、②子どもの服など身につけるものが買えないこと（24.8%）、④税金、社会保険料などの支払いに困ること（23.8%）、①必要とする食料が買えないこと（23.3%）などとなっています。

②生活レベル判定



レベル1
 レベル2
 レベル3
 無回答

レベル1：①②③のいずれかに、「よくあった」、「ときどきあった」
 レベル2：①②③のすべてが「ほとんどなかった」、「まったくなかった」
 ④～⑩のいずれかに「よくあった」、「ときどきあった」
 レベル3：①～⑩のすべてが「ほとんどなかった」、「まったくなかった」

生活の場面ごとの経済的に困った経験について整理すると、生活の基礎となる衣食住に関わる項目のいずれかにおいて経済的に困った経験がある「レベル1」に該当する人は31.7%で、半数以上はすべての項目に経済的に困った経験のない「レベル3」(53.0%)となっています。

[属性別にみた回答傾向]

		n	レベル1	レベル2	レベル3	無回答
全体		100.0% 202件	31.7% 64件	11.9% 24件	53.0% 107件	3.5% 7件
世帯の状況	父母 (祖父母と同居していない)	100.0% 81件	39.5% 32件	7.4% 6件	51.9% 42件	1.2% 1件
	父母 (祖父母等と同居している)	100.0% 96件	22.9% 22件	12.5% 12件	59.4% 57件	5.2% 5件
	ひとり親世帯 (祖父母等と同居していない)	100.0% 6件	66.7% 4件	16.7% 1件	16.7% 1件	0.0% 0件
	ひとり親世帯 (祖父母等と同居している)	100.0% 14件	35.7% 5件	28.6% 4件	28.6% 4件	7.1% 1件
	その他	100.0% 3件	0.0% 0件	33.3% 1件	66.7% 2件	0.0% 0件

世帯の状況別にみると、祖父母等と同居していないひとり親世帯では66.7%が「生活レベル1」となっています。

		n	レベル1	レベル2	レベル3	無回答
全体		100.0%	31.7%	11.9%	53.0%	3.5%
		202件	64件	24件	107件	7件
子どもの人数	1人	100.0%	24.4%	12.2%	58.5%	4.9%
		41件	10件	5件	24件	2件
	2人	100.0%	30.1%	9.7%	54.8%	5.4%
		93件	28件	9件	51件	5件
	3人以上	100.0%	37.7%	14.8%	47.5%	0.0%
		61件	23件	9件	29件	0件

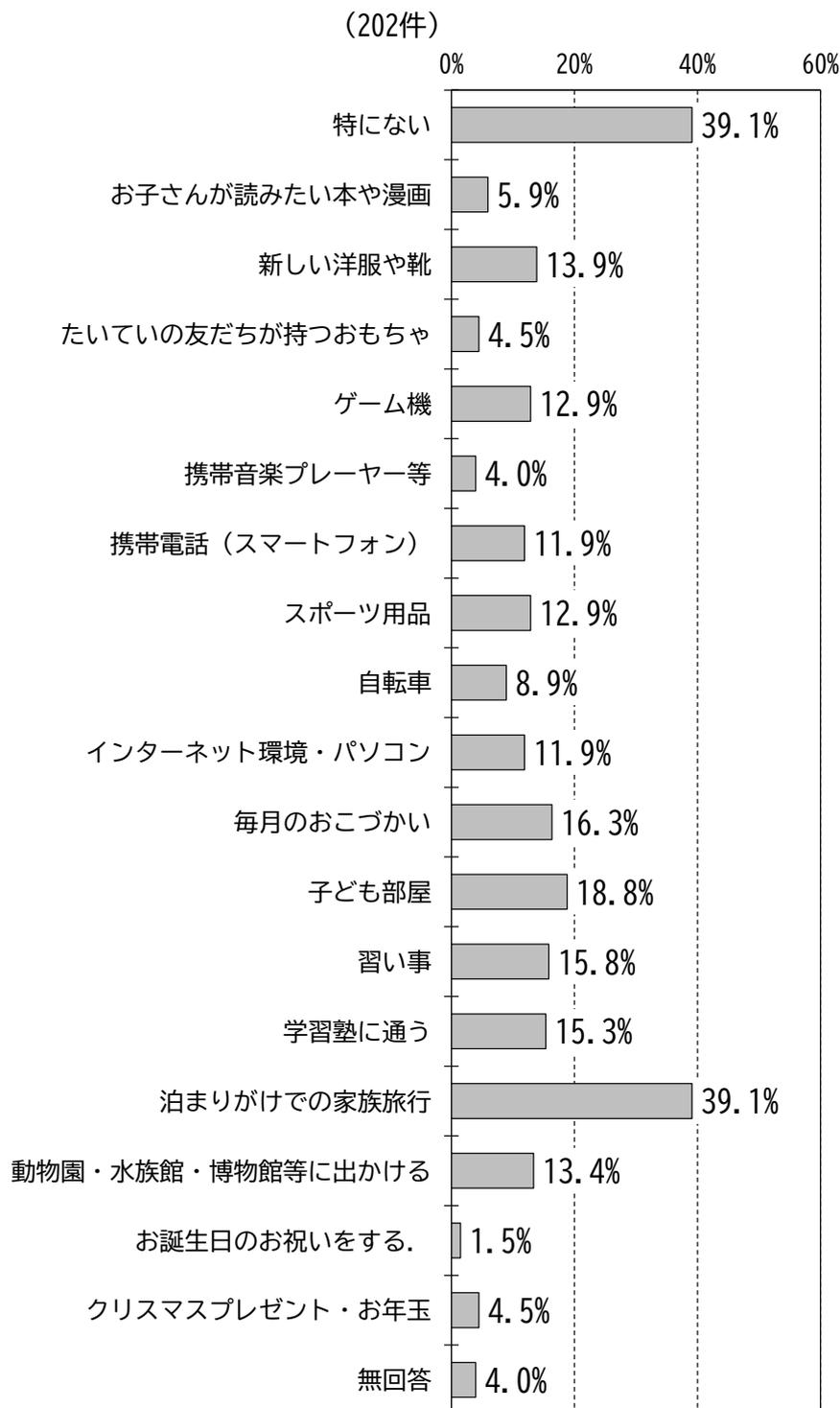
18歳未満の子どもの人数別にみると、子どもの人数が多くなるほど「生活レベル1」の割合は高くなっています。

		n	レベル1	レベル2	レベル3	無回答
全体		100.0%	31.7%	11.9%	53.0%	3.5%
		202件	64件	24件	107件	7件
世帯の年収額	250万円未満	100.0%	50.0%	12.5%	31.3%	6.3%
		16件	8件	2件	5件	1件
	250～500万円未満	100.0%	48.8%	16.3%	34.9%	0.0%
		43件	21件	7件	15件	0件
	500～750万円未満	100.0%	18.5%	14.8%	64.8%	1.9%
		54件	10件	8件	35件	1件
	750～1,000万円未満	100.0%	20.8%	12.5%	66.7%	0.0%
		24件	5件	3件	16件	0件
	1,000万円以上	100.0%	8.3%	0.0%	91.7%	0.0%
		12件	1件	0件	11件	0件

世帯年収別にみると、世帯年収が低いほど「生活レベル1」の割合はおおむね高く、250万円未満の世帯では50.0%が「生活レベル1」となっています。

(4) 経済的理由で断念したもの

問11 お子さんにしてあげたいものの、経済的理由で買えなかったりできなかったりしたことはありますか。(あてはまるものすべてに○)



子どもにしてあげたいのに経済的理由できないこととしては、「特にない」が39.1%で多くなっていますが、できないこととしては「泊まりがけでの家族旅行」が39.1%となっています。

[属性別にみた回答傾向]

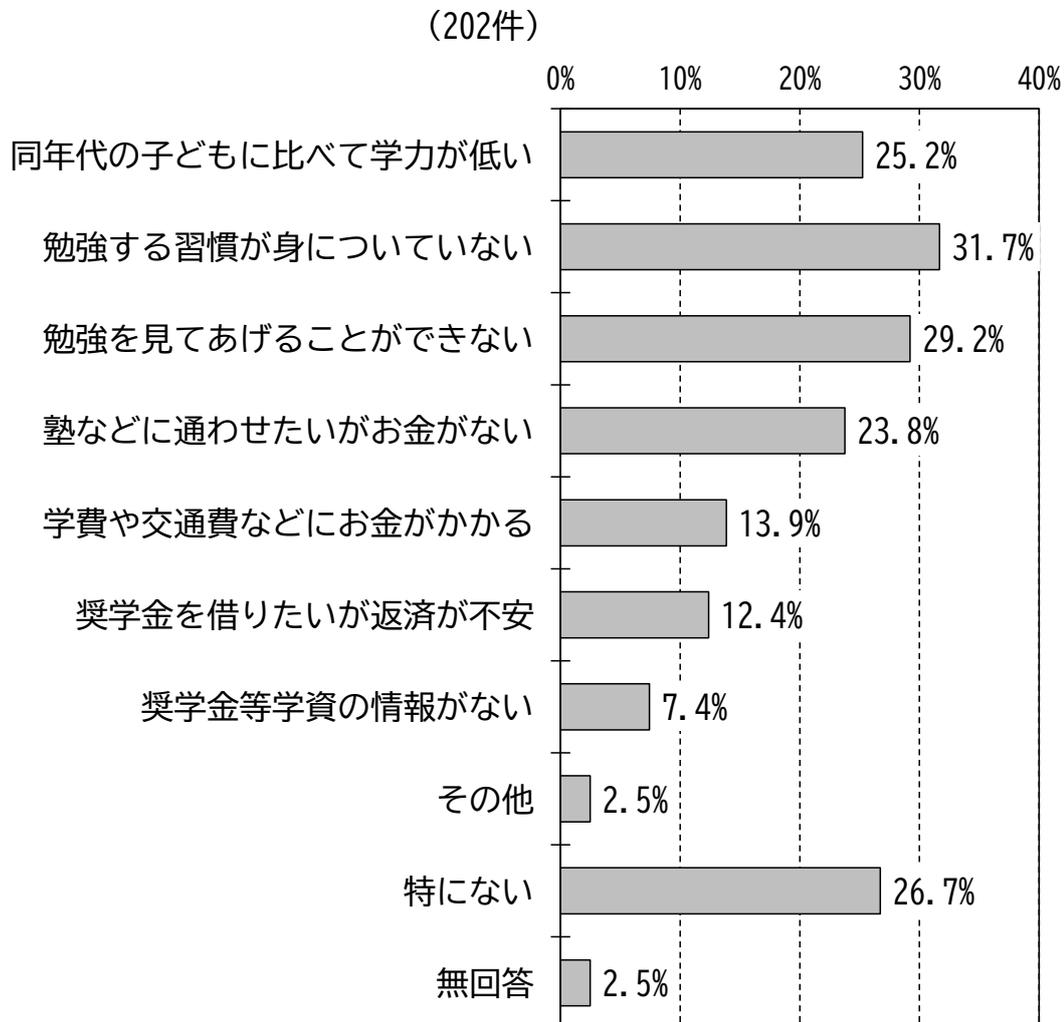
		n	特にな い	お子さんが読 みたい本や漫 画	新しい洋服や靴	たいていの友 だちが持つおも ちゃ	ゲーム機	携帯音楽プレー ヤー等	携帯電話(スマ ートフォン)
全体		100.0% 202件	39.1% 79件	5.9% 12件	13.9% 28件	4.5% 9件	12.9% 26件	4.0% 8件	11.9% 24件
世帯の年収額	250万円未満	100.0% 16件	37.5% 6件	0.0% 0件	18.8% 3件	0.0% 0件	6.3% 1件	0.0% 0件	12.5% 2件
	250～500万円未満	100.0% 43件	27.9% 12件	14.0% 6件	23.3% 10件	9.3% 4件	23.3% 10件	9.3% 4件	14.0% 6件
	500～750万円未満	100.0% 54件	46.3% 25件	1.9% 1件	11.1% 6件	3.7% 2件	1.9% 1件	0.0% 0件	7.4% 4件
	750～1,000万円未満	100.0% 24件	45.8% 11件	0.0% 0件	4.2% 1件	0.0% 0件	25.0% 6件	4.2% 1件	12.5% 3件
	1,000万円以上	100.0% 12件	66.7% 8件	0.0% 0件	0.0% 0件	0.0% 0件	0.0% 0件	0.0% 0件	0.0% 0件
	全体	100.0% 202件	12.9% 26件	8.9% 18件	11.9% 24件	16.3% 33件	18.8% 38件	15.8% 32件	15.3% 31件
世帯の年収額	250万円未満	100.0% 16件	12.5% 2件	0.0% 0件	18.8% 3件	25.0% 4件	6.3% 1件	18.8% 3件	6.3% 1件
	250～500万円未満	100.0% 43件	16.3% 7件	23.3% 10件	16.3% 7件	20.9% 9件	25.6% 11件	20.9% 9件	14.0% 6件
	500～750万円未満	100.0% 54件	11.1% 6件	3.7% 2件	5.6% 3件	5.6% 3件	16.7% 9件	13.0% 7件	18.5% 10件
	750～1,000万円未満	100.0% 24件	12.5% 3件	4.2% 1件	20.8% 5件	12.5% 3件	8.3% 2件	20.8% 5件	25.0% 6件
	1,000万円以上	100.0% 12件	16.7% 2件	0.0% 0件	0.0% 0件	0.0% 0件	8.3% 1件	0.0% 0件	0.0% 0件
	全体	100.0% 202件	39.1% 79件	13.4% 27件	1.5% 3件	4.5% 9件	4.0% 8件		
世帯の年収額	250万円未満	100.0% 16件	43.8% 7件	6.3% 1件	6.3% 1件	0.0% 0件	12.5% 2件		
	250～500万円未満	100.0% 43件	58.1% 25件	20.9% 9件	4.7% 2件	9.3% 4件	2.3% 1件		
	500～750万円未満	100.0% 54件	37.0% 20件	11.1% 6件	0.0% 0件	1.9% 1件	1.9% 1件		
	750～1,000万円未満	100.0% 24件	25.0% 6件	4.2% 1件	0.0% 0件	4.2% 1件	0.0% 0件		
	1,000万円以上	100.0% 12件	8.3% 1件	0.0% 0件	0.0% 0件	0.0% 0件	8.3% 1件		
	全体	100.0% 202件	39.1% 79件	13.4% 27件	1.5% 3件	4.5% 9件	4.0% 8件		

世帯年収別にみると、500万円未満の世帯では「泊まりがけでの家族旅行」を経済的理由でできないとする回答が4～6割近くを占め、500万円以上の世帯よりも割合が高くなっています。

3. 子育て環境に関する要望について

(1) 子どもの教育に関する心配ごと

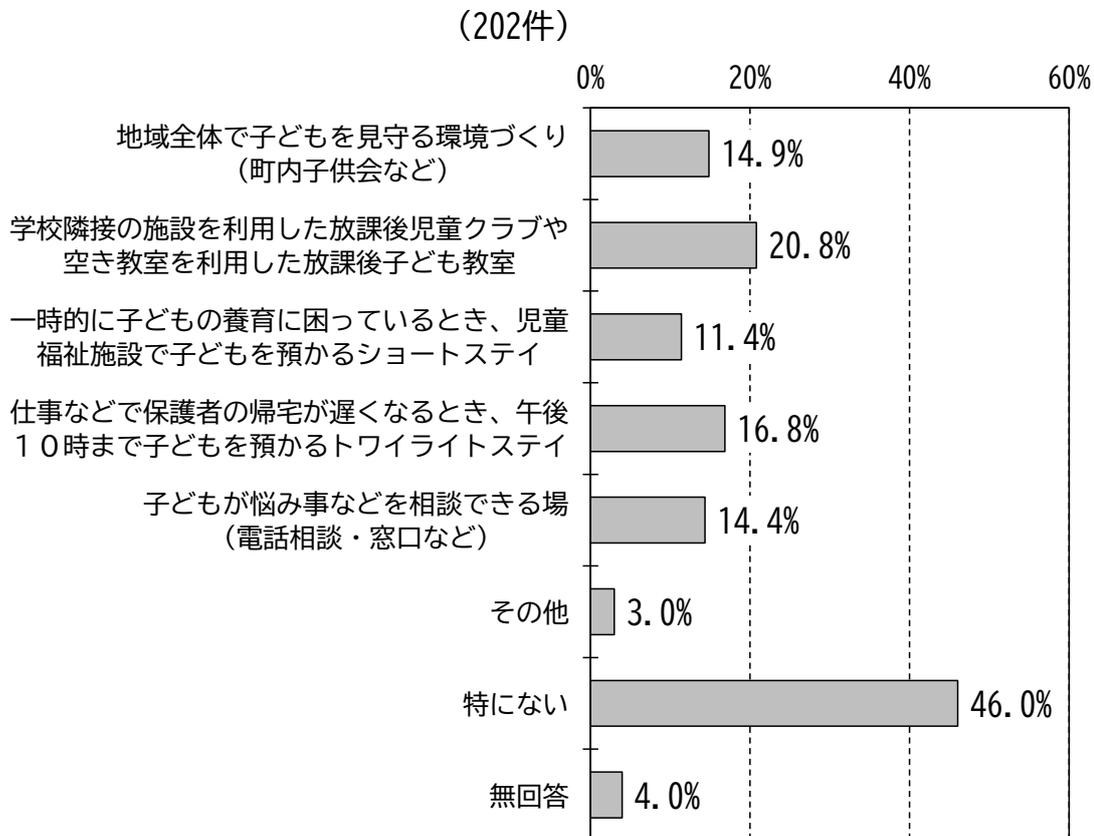
問12 お子さんの教育に関して心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)



子どもの教育に関して心配なこととしては、「勉強する習慣が身につけていない」(31.7%)、「勉強を見てあげることができない」(29.2%) などへの回答が多くなっています。

(2) 放課後の居場所づくりで充実してほしいこと

問13 放課後の子どもの居場所づくりにおいて充実してほしいことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

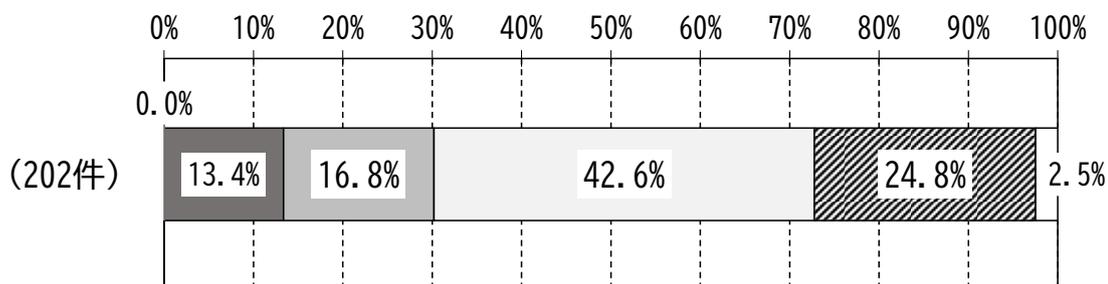


放課後の子どもの居場所づくりのために充実させてほしいことについては、「特にない」が46.0%でもっとも多くなっています。

居場所づくりのために充実させてほしいこととしては「学校隣接の施設を利用した放課後児童クラブや空き教室を利用した放課後子ども教室」が20.8%などとなっています。

(3) 子どもに受けさせたい教育段階

問14 お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。(〇は1つ)



- 中学校まで
- 高校まで
- 高専、短大、専門学校まで
- 大学以上
- まだ決めていない
- 無回答

子どもに希望する教育段階についてみると、「大学以上」が42.6%でもっとも多くなっています。

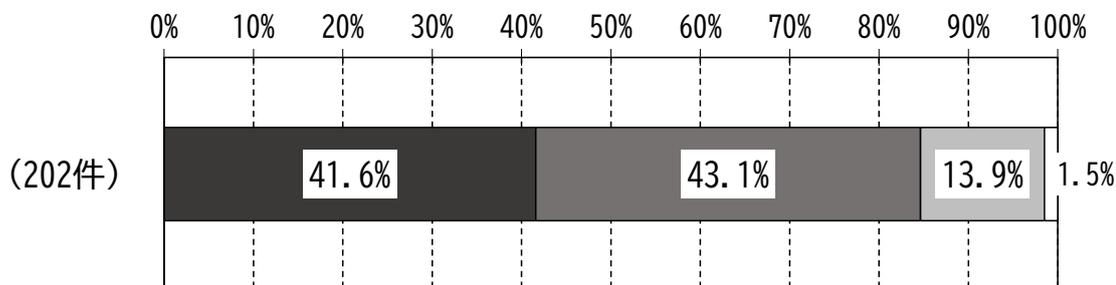
[属性別にみた回答傾向]

		n	中学校まで	高校まで	高専、短大、 専門学校まで	大学以上	まだ決めて いない	無回答
全体		100.0% 202件	0.0% 0件	13.4% 27件	16.8% 34件	42.6% 86件	24.8% 50件	2.5% 5件
世帯の年収額	250万円未満	100.0% 16件	0.0% 0件	25.0% 4件	37.5% 6件	25.0% 4件	6.3% 1件	6.3% 1件
	250～500万円未満	100.0% 43件	0.0% 0件	25.6% 11件	16.3% 7件	25.6% 11件	30.2% 13件	2.3% 1件
	500～750万円未満	100.0% 54件	0.0% 0件	13.0% 7件	20.4% 11件	42.6% 23件	20.4% 11件	3.7% 2件
	750～1,000万円未満	100.0% 24件	0.0% 0件	4.2% 1件	16.7% 4件	62.5% 15件	16.7% 4件	0.0% 0件
	1,000万円以上	100.0% 12件	0.0% 0件	0.0% 0件	0.0% 0件	83.3% 10件	16.7% 2件	0.0% 0件

世帯年収別にみると、世帯年収が高いほど「大学以上」への回答割合は高くなっており、反対に世帯年収が低いほど「高校まで」、「高専、短大、専門学校まで」において回答割合がおおむね高くなっています。

(4) 進学を断念する可能性

問15 将来において、経済的理由でお子さんの進学をあきらめなければならない可能性はあると思いますか（〇は1つ）



- 可能性はある
- いまのところはないが、これから可能性があるかもしれない
- 本人が希望する段階まで進学させられると思う
- 無回答

今後、経済的な理由によって進学や就学を断念する可能性についてみると、「可能性はある」は41.6%です。「いまのところはないが、これから可能性があるかもしれない」は43.1%と半数を占めています。

[属性別にみた回答傾向]

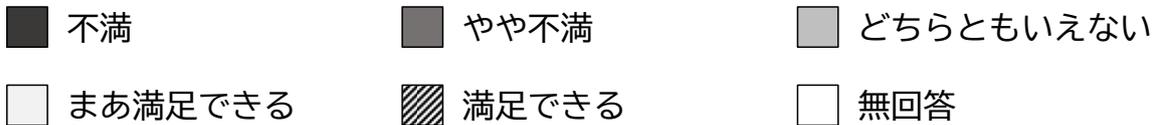
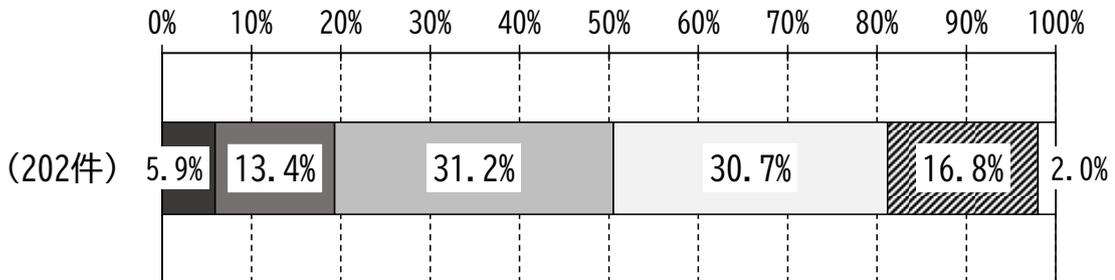
		n	可能性はある	いまのところはないが、これから可能性があるかもしれない	本人が希望する段階まで進学させられると思う	無回答
全体		100.0% 202件	41.6% 84件	43.1% 87件	13.9% 28件	1.5% 3件
世帯の年収額	250万円未満	100.0% 16件	43.8% 7件	50.0% 8件	0.0% 0件	6.3% 1件
	250～500万円未満	100.0% 43件	62.8% 27件	32.6% 14件	4.7% 2件	0.0% 0件
	500～750万円未満	100.0% 54件	35.2% 19件	46.3% 25件	14.8% 8件	3.7% 2件
	750～1,000万円未満	100.0% 24件	25.0% 6件	50.0% 12件	25.0% 6件	0.0% 0件
	1,000万円以上	100.0% 12件	8.3% 1件	66.7% 8件	25.0% 3件	0.0% 0件

世帯年収別にみると、500万円未満の世帯では「可能性はある」への回答割合が高くなっています。

4. 町の子育て支援の取組について

(1) 子育て環境や支援への満足度

問16 本町の子育て環境や子ども・子育て支援の取組について、総合的にみるとあなたはどのような評価をしていますか。(〇は1つ)



本町の子育て支援に対しては、「満足できる」、「まあ満足できる」をあわせた“満足”という肯定的評価が47.5%、「やや不満」、「不満」をあわせた“不満”という否定的評価が19.3%で、肯定的評価が否定的評価を上回っています。

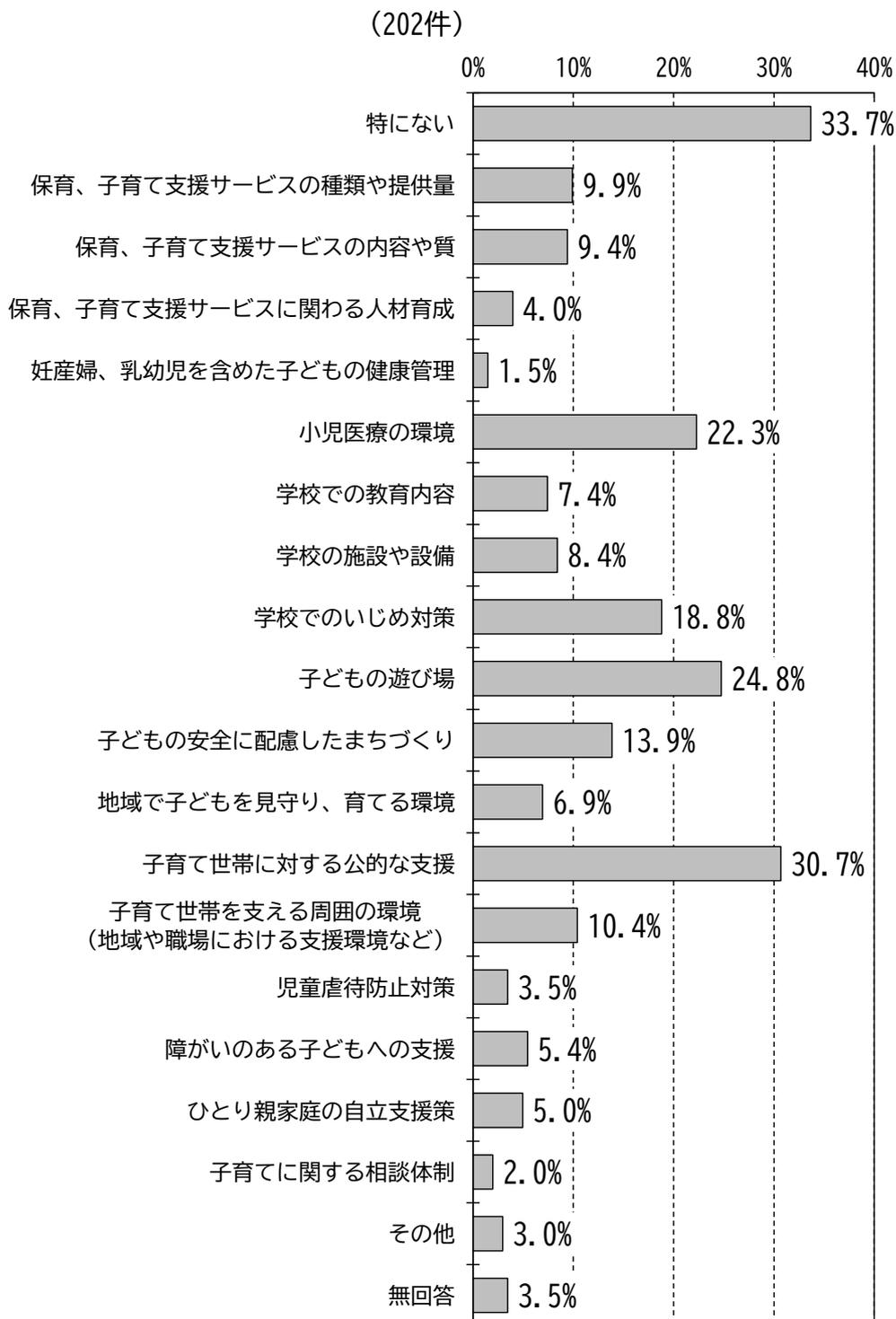
[属性別にみた回答傾向]

		n	不満	やや不満	どちらともいえない	まあ満足できる	満足できる	無回答
全体		100.0%	5.9%	13.4%	31.2%	30.7%	16.8%	2.0%
		202件	12件	27件	63件	62件	34件	4件
居住地区	千畑地区	100.0%	8.8%	10.3%	23.5%	32.4%	23.5%	1.5%
		68件	6件	7件	16件	22件	16件	1件
	六郷地区	100.0%	4.8%	9.7%	37.1%	25.8%	17.7%	4.8%
		62件	3件	6件	23件	16件	11件	3件
	仙南地区	100.0%	2.9%	20.0%	34.3%	32.9%	10.0%	0.0%
		70件	2件	14件	24件	23件	7件	0件

居住地区別にみると、いずれの地区においても“満足”という評価が“不満”という評価を上回っていますが、とくに「千畑地区」では満足という肯定的評価が55.9%と半数以上を占めています。

(2) 子ども・子育て支援への不満

問17 本町の子ども・子育て支援に関して不満に思う点がある場合、お答えください。
(あてはまるものすべてに○)



本町の子ども・子育て支援に関して不満に思うこととしては、「子育て世帯に対する公的な支援」が30.7%でもっとも多く、その他に「子どもの遊び場」(24.8%)、「小児医療の環境」(22.3%)などが挙げられています。

【属性別にみた回答傾向】

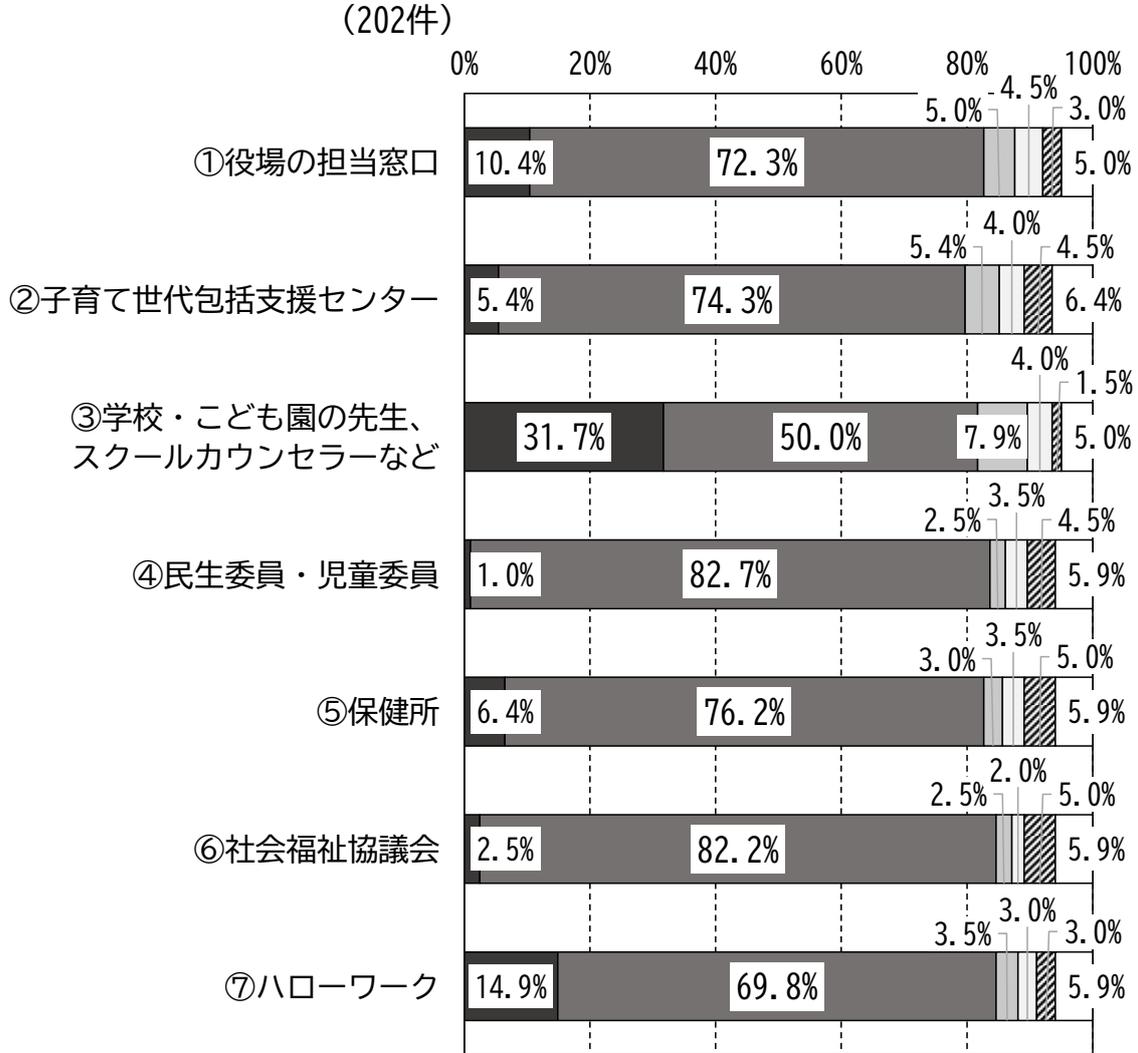
		n	特にな い	保育、子育て支 援サービスの 種類や提供量	保育、子育て支 援サービスの 内容や質	保育、子育て支 援サービスに関 わる人材育成	妊産婦、乳幼児 を含めた子ども の健康管理	小児医療の環 境	学校での教育 内容
全体		100.0% 202件	33.7% 68件	9.9% 20件	9.4% 19件	4.0% 8件	1.5% 3件	22.3% 45件	7.4% 15件
子育て環境や支 援に対する満足 度	“不満”	100.0% 39件	5.1% 2件	28.2% 11件	25.6% 10件	15.4% 6件	5.1% 2件	38.5% 15件	25.6% 10件
	どちらともいえない	100.0% 63件	20.6% 13件	12.7% 8件	7.9% 5件	1.6% 1件	1.6% 1件	28.6% 18件	6.3% 4件
	“満足”	100.0% 96件	54.2% 52件	1.0% 1件	4.2% 4件	1.0% 1件	0.0% 0件	12.5% 12件	1.0% 1件
		n	学校の施設や 設備	学校でのいじめ 対策	子どもの遊び場	子どもの安全に 配慮したまちづ くり	地域で子どもを 見守り、育てる 環境	子育て世帯に 対する公的な 支援	子育て世帯を 支える周囲の 環境(地域や職 場における支援 環境など)
全体		100.0% 202件	8.4% 17件	18.8% 38件	24.8% 50件	13.9% 28件	6.9% 14件	30.7% 62件	10.4% 21件
子育て環境や支 援に対する満足 度	“不満”	100.0% 39件	28.2% 11件	43.6% 17件	35.9% 14件	30.8% 12件	23.1% 9件	56.4% 22件	23.1% 9件
	どちらともいえない	100.0% 63件	4.8% 3件	20.6% 13件	28.6% 18件	14.3% 9件	4.8% 3件	44.4% 28件	12.7% 8件
	“満足”	100.0% 96件	3.1% 3件	8.3% 8件	18.8% 18件	6.3% 6件	2.1% 2件	11.5% 11件	3.1% 3件
		n	児童虐待防止 対策	障がいのある 子どもへの支援	ひとり親家庭の 自立支援策	子育てに関する 相談体制	その他	無回答	
全体		100.0% 202件	3.5% 7件	5.4% 11件	5.0% 10件	2.0% 4件	3.0% 6件	3.5% 7件	
子育て環境や支 援に対する満足 度	“不満”	100.0% 39件	12.8% 5件	17.9% 7件	5.1% 2件	10.3% 4件	10.3% 4件	0.0% 0件	
	どちらともいえない	100.0% 63件	3.2% 2件	4.8% 3件	7.9% 5件	0.0% 0件	3.2% 2件	0.0% 0件	
	“満足”	100.0% 96件	0.0% 0件	1.0% 1件	3.1% 3件	0.0% 0件	0.0% 0件	5.2% 5件	

本町の子育て環境や支援に対する満足度別にみると、“満足”という肯定的評価をしている層においても、「子どもの遊び場」(18.8%)、「小児医療の環境」(12.5%)、「子育て世帯に対する公的な支援」(11.5%)を不満点としてあげている回答が1割台となっています。

“不満”という否定的評価をしている層では、「子育て世帯に対する公的な支援」を不満とする回答が56.4%と半数以上を占め、ついで「学校でのいじめ対策」への回答が43.6%となっています。その他に「小児医療の環境」(38.5%)、「子どもの遊び場」(35.9%)、「子どもの安全に配慮したまちづくり」(30.8%)などを不満点としてあげる回答が3割を超えています。

(3) 公的機関への相談状況

問18 あなたはこれまでに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



- 相談したことがある
- 相談したいと思ったことがなかった
- 相談したかったが、抵抗感があった
- 相談時間や場所などが使いづらかった
- 相談する窓口や方法がわからなかった
- 無回答

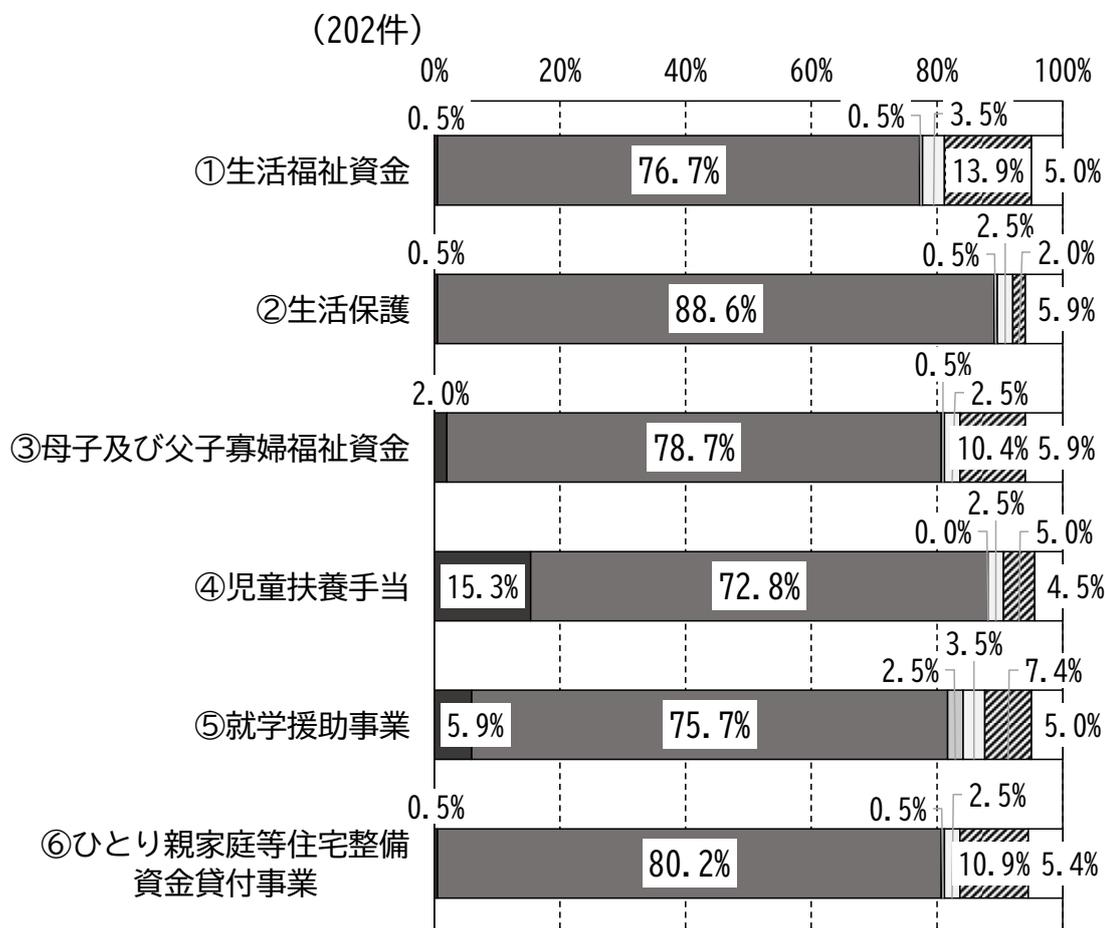
公的機関への相談状況についてみると、いずれも「相談したいと思ったことがなかった」という回答が多く、多くの機関に対して7割前後以上が相談の必要性を感じていませんでした。

「相談したかったが、抵抗感があった」、「相談時間や場所などが使いづらかった」、「相談する窓口や方法がわからなかった」といった相談の意思はあったものの何らかの相談へのハードルのため相談できなかったという回答はいずれの機関に対しても1割前後の回答がありました。

「相談したことがある」という回答が多かったものは、③学校・こども園の先生、スクールカウンセラーなどで、31.7%が相談経験があるとしています。

(4) 各支援制度の利用状況

問19 あなたのご家庭では、以下の支援制度を利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



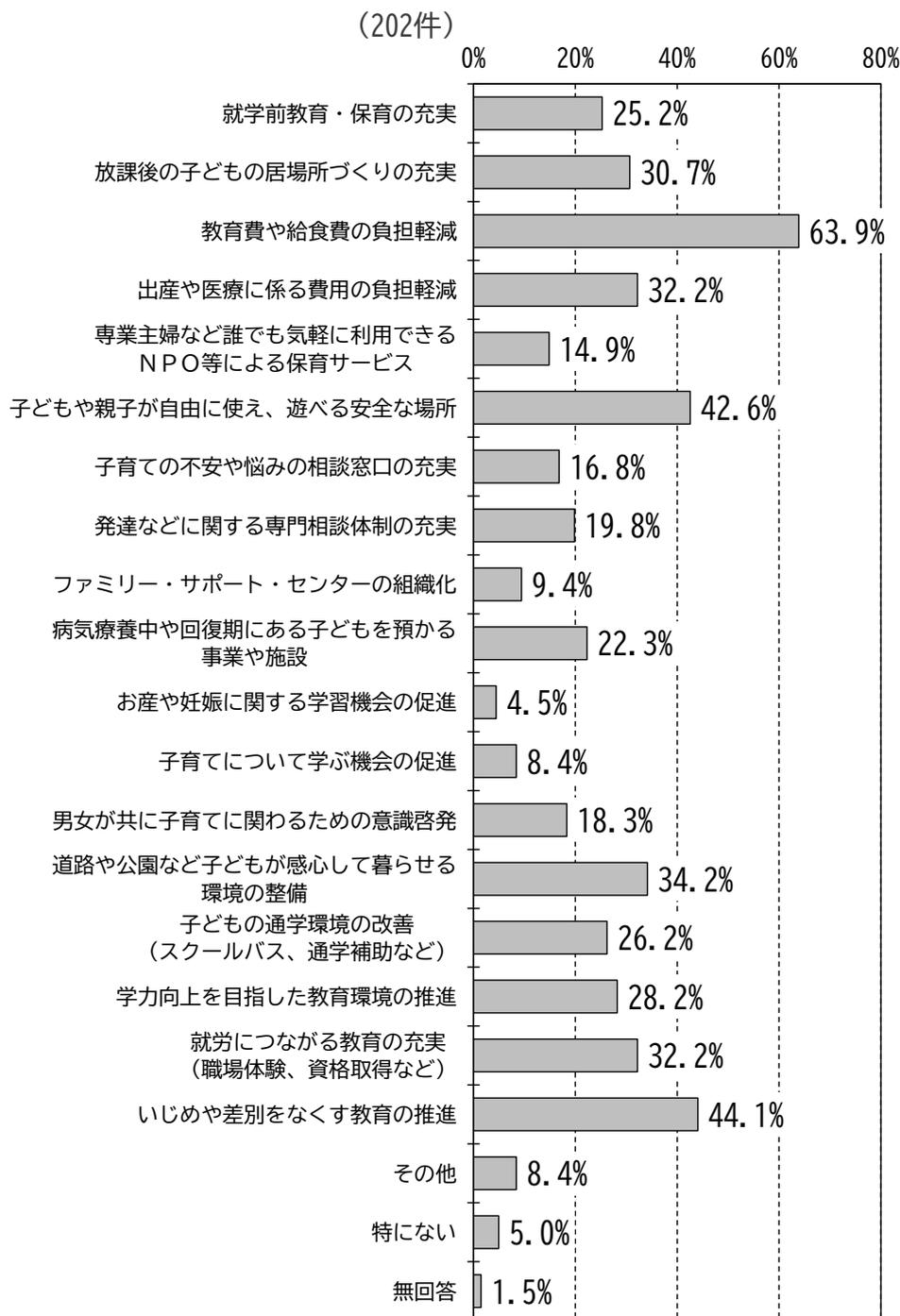
- 利用したことがある
- 利用したことがない利用したいと思ったことがなかった (そもそも制度の対象外だった)
- 利用したかったが、申請に抵抗感があった
- 利用の仕方 (申請方法) がわからなかった
- 制度について全く知らなかった
- 無回答

各種の支援制度の利用状況を見ると、「利用したことがある」という回答が多かったものは④児童扶養手当 (15.3%)、⑤就学援助事業 (5.9%) などとなっています。

①生活福祉資金 (13.9%)、③母子及び父子寡婦福祉資金 (10.4%)、⑥ひとり親家庭等住宅整備資金貸付事業 (10.9%) については「制度について全く知らなかった」という回答が1割程度を占めています。

(5) 子どものよりよい成長に必要な支援

問20 今後、子どものよりよい成長のために必要と思われる支援はどのようなことだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



今後、子どものよりよい成長のために必要と思われる支援について聞くと、「教育費や給食費の負担軽減」が63.9%でもっとも多くなっています。

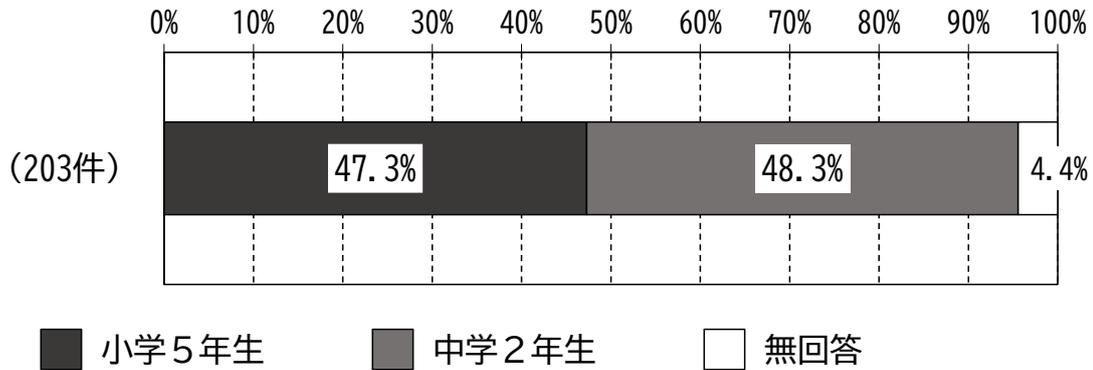
その他に「いじめや差別をなくす教育の推進」(44.1%)、「子どもや親子が自由に使い、遊べる、安全な場を充実してほしい」(42.6%)などが挙げられています。

第3章 児童生徒本人調査結果

1. 回答者自身について

(1) 学年

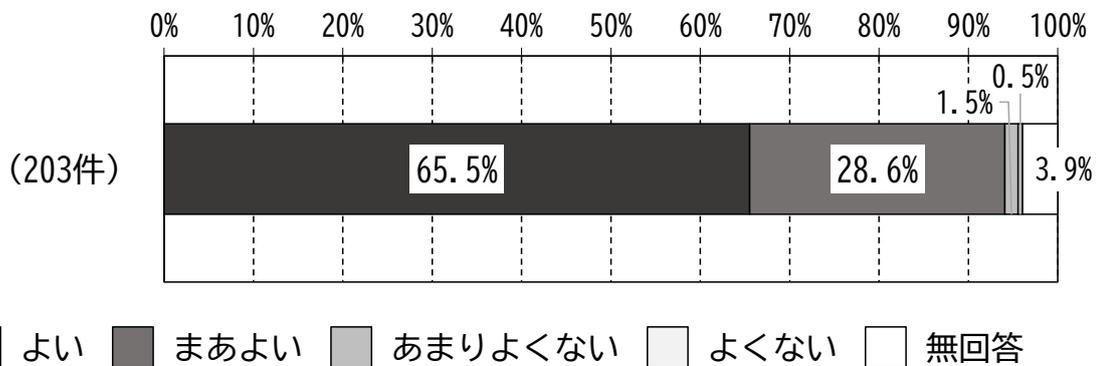
問1 あなたの学年について教えてください。(令和6年4月1日時点)



回答いただいた児童生徒は「小学5年生」と「中学2年生」がほぼ同じ割合となっています。

(2) 健康状態

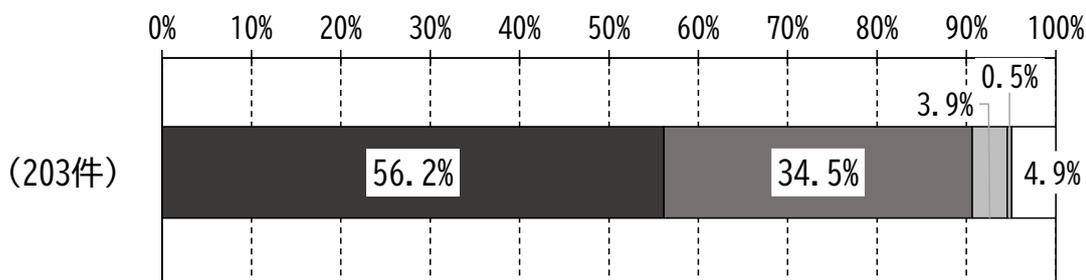
問2 あなたの最近の健康状態はいかがですか。(〇は1つ)



児童生徒本人の健康状態は「よい」が65.5%で、「まあよい」とあわせると8割以上が健康状態はよいとしています。

(3) 生活の満足度

問3 あなたは最近の生活に満足していますか。(〇は1つ)



- 満足している
- まあ満足している
- あまり満足していない
- 満足していない
- 無回答

最近の生活の満足度については、「満足している」が56.2%と半数を超え、「まあ満足している」(34.5%)とあわせると9割以上が最近の生活に満足しています。

[属性別にみた回答傾向]

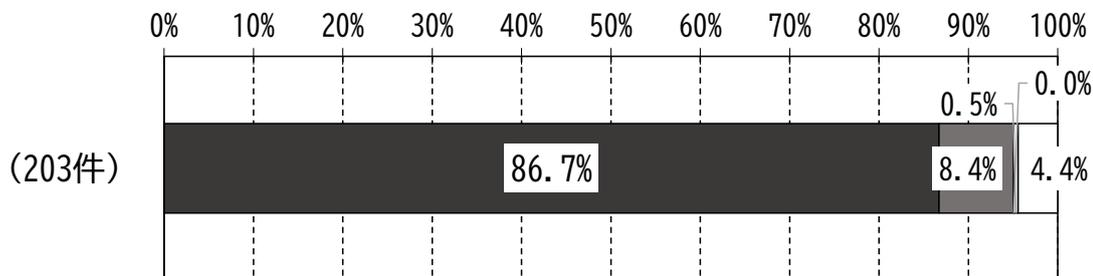
		n	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答
全体		100.0% 203件	56.2% 114件	34.5% 70件	3.9% 8件	0.5% 1件	4.9% 10件
対象児童生徒 の学年	小学5年生	100.0%	62.5%	33.3%	4.2%	0.0%	0.0%
		96件	60件	32件	4件	0件	0件
	中学2年生	100.0%	55.1%	37.8%	4.1%	1.0%	2.0%
		98件	54件	37件	4件	1件	2件

学年別にみると、「満足している」という回答は小学5年生の方が中学2年生よりも割合が高くなっています。

2. ふだんの生活について

(1) 学校への登校状況

問4 あなたは学校には登校できていますか。(〇は1つ)



- 登校できている
- 病気やケガをしているわけではないが、たまに登校できない(登校したくない)ことがある
- これまでに、病気やケガをしているわけではないが1か月以上登校しないことがあった(いまは登校している)
- いま学校には登校していない
- 無回答

登校状況を見ると、「登校できている」が86.7%と大半を占めていますが、「病気やケガをしているわけではないが、たまに登校できない(登校したくない)ことがある」という回答も8.4%となっています。

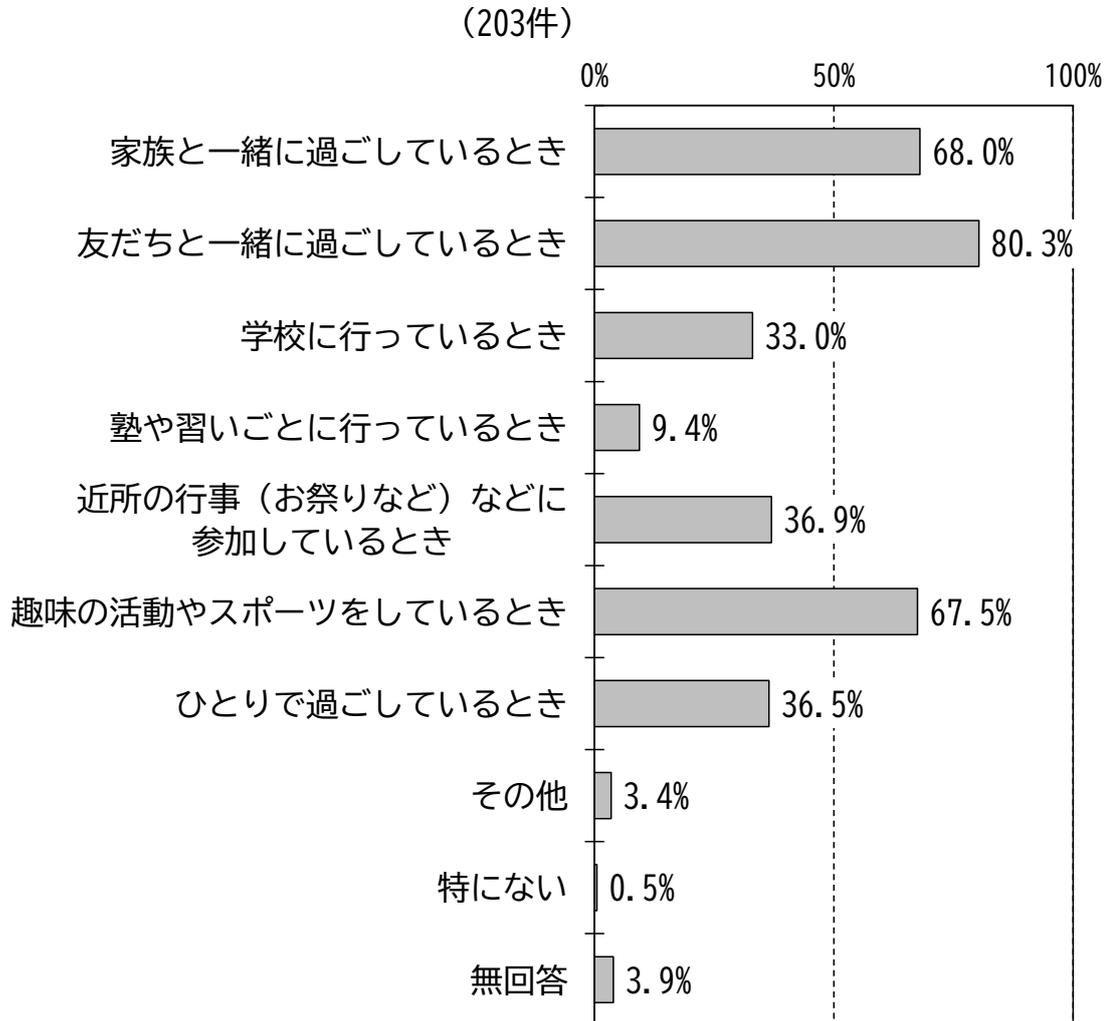
[属性別にみた回答傾向]

		n	登校できている	病気やケガをしているわけではないが、たまに登校できない(登校したくない)ことがある	これまでに、病気やケガをしているわけではないが1か月以上登校しないことがあった(いまは登校している)	いま学校には登校していない	無回答
全体		100.0%	86.7%	8.4%	0.0%	0.5%	4.4%
		203件	176件	17件	0件	1件	9件
対象児童生徒の学年	小学5年生	100.0%	87.5%	10.4%	0.0%	1.0%	1.0%
		96件	84件	10件	0件	1件	1件
	中学2年生	100.0%	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
		98件	91件	7件	0件	0件	0件

学年別にみると、小学5年生の方が「病気やケガをしているわけではないが、たまに登校できない(登校したくない)ことがある」という回答の割合がやや高くなっています。

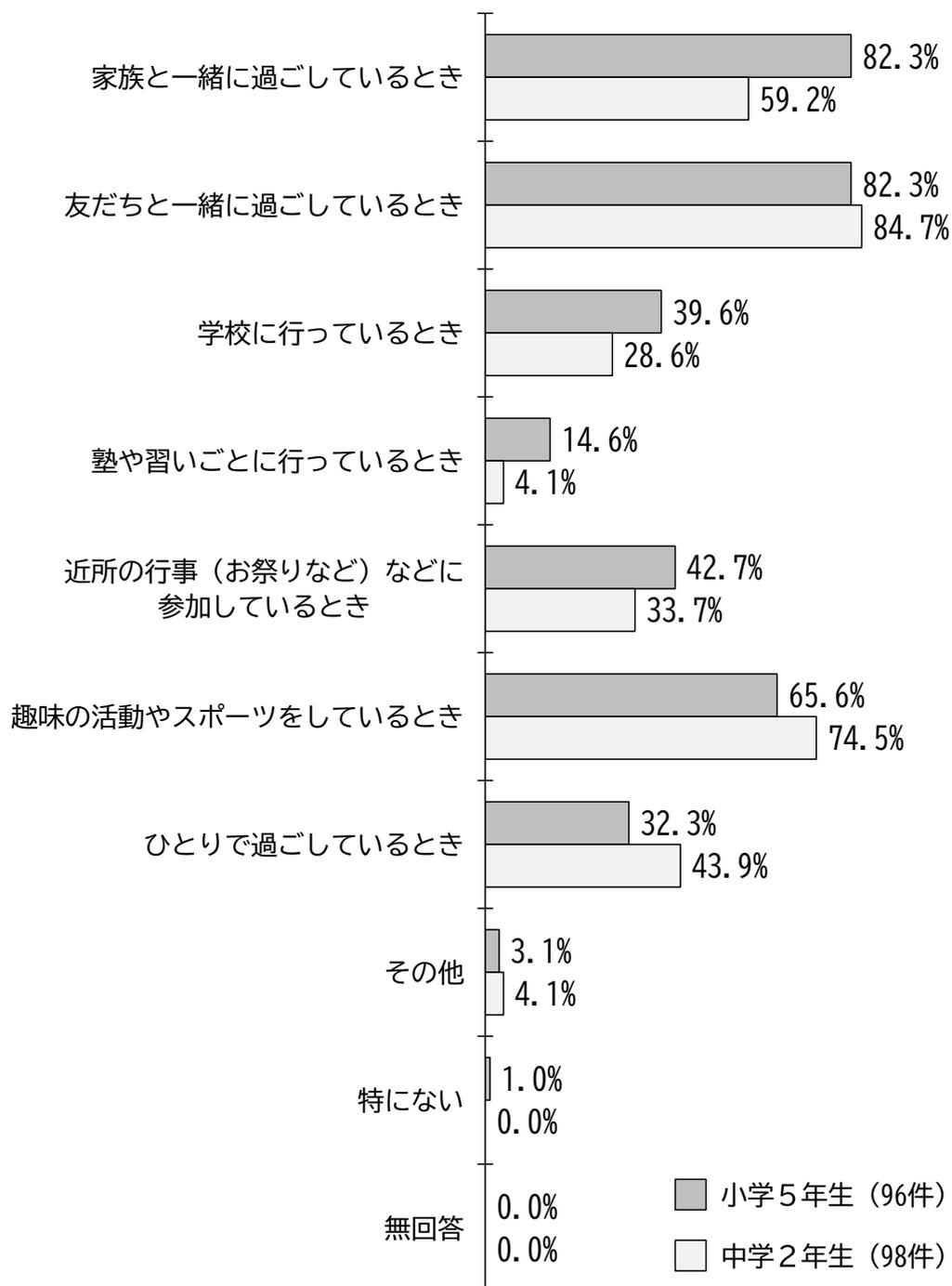
(2) 楽しいと思う場面

問5 あなたは毎日の生活の中でどのようなときに楽しいと思いますか。(〇はいくつでも)



毎日の生活の中で楽しいと思うことは、「友だちと一緒に過ごしているとき」が80.3%でもっとも多く、ついで「家族と一緒に過ごしているとき」(68.0%)、「趣味の活動やスポーツをしているとき」(67.5%)となっています。

[属性別にみた回答傾向]

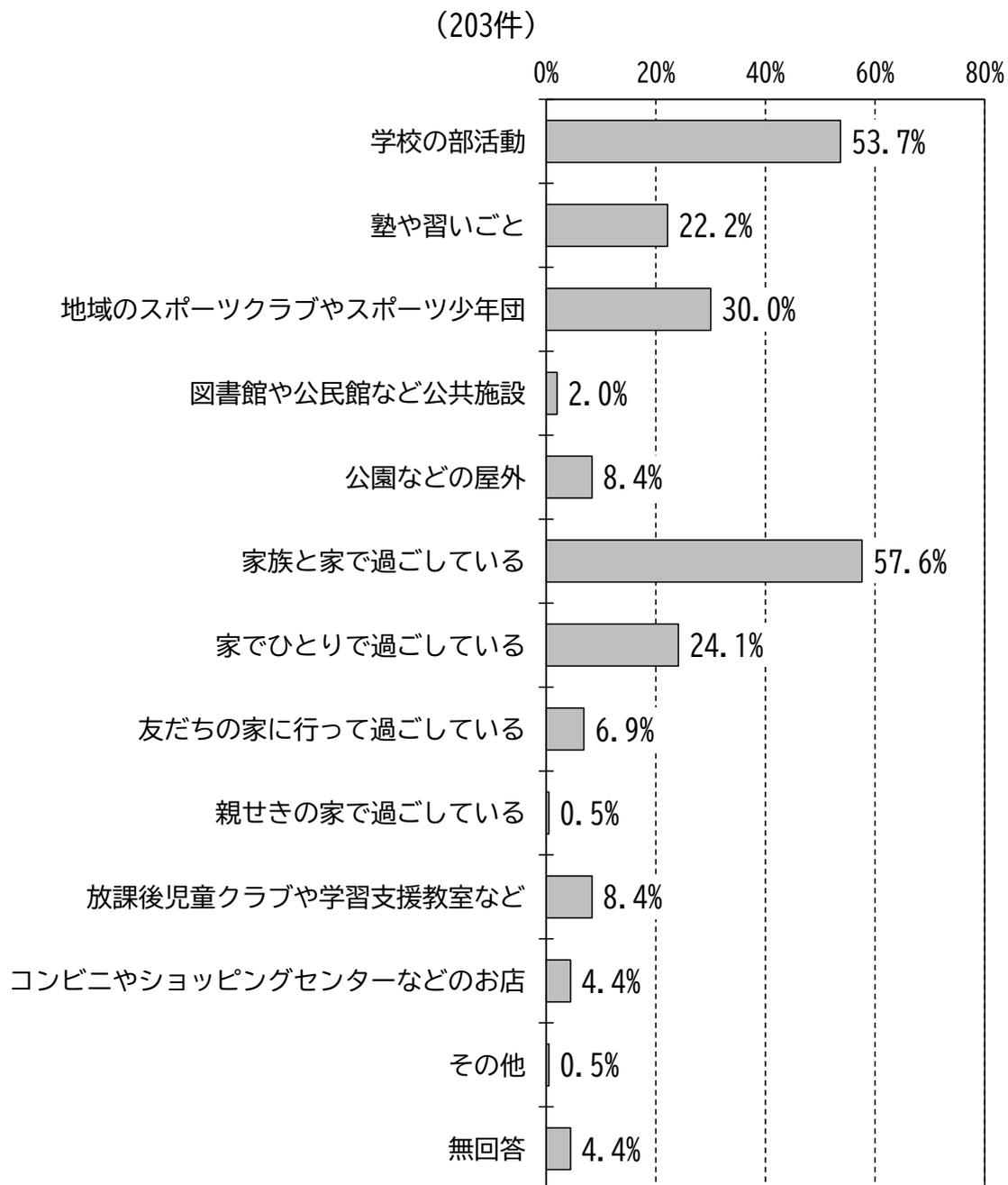


学年別にみると、「友だちと一緒に過ごしているとき」が小学5年生、中学2年生ともに回答がもっとも多くなっています。

中学2年生では「家族と一緒に過ごしているとき」への回答割合が低くなっている分、「趣味の活動やスポーツをしているとき」や「ひとりで過ごしているとき」への回答割合が高くなっています。

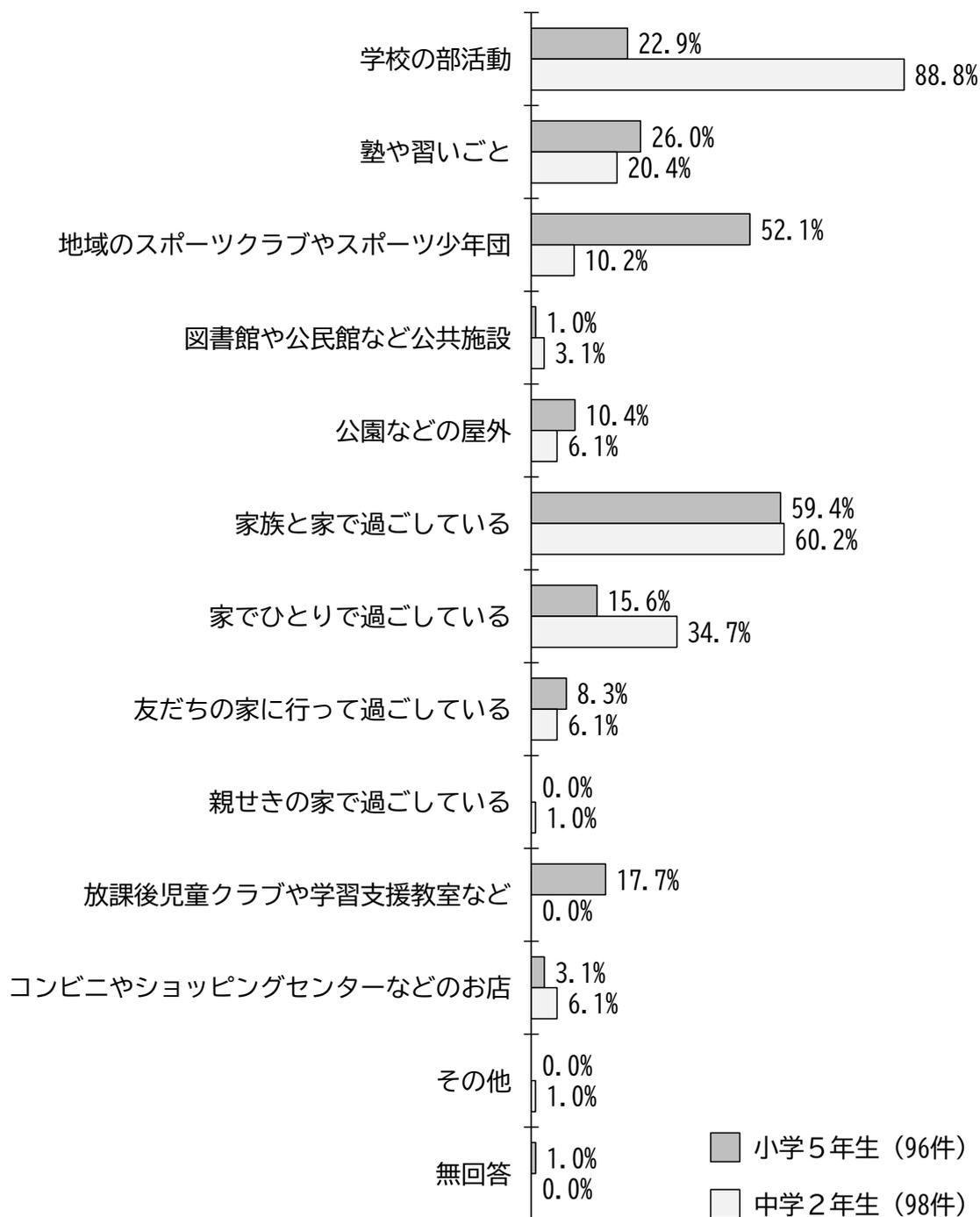
(3) 放課後の過ごし方

問6 あなたは放課後（平日の授業終了後）、主にどのように過ごしていますか。
（〇はいくつでも）



平日の放課後の過ごし方をみると、「家族と家で過ごしている」（57.6%）、「学校の部活動」（53.7%）への回答が多くなっています。

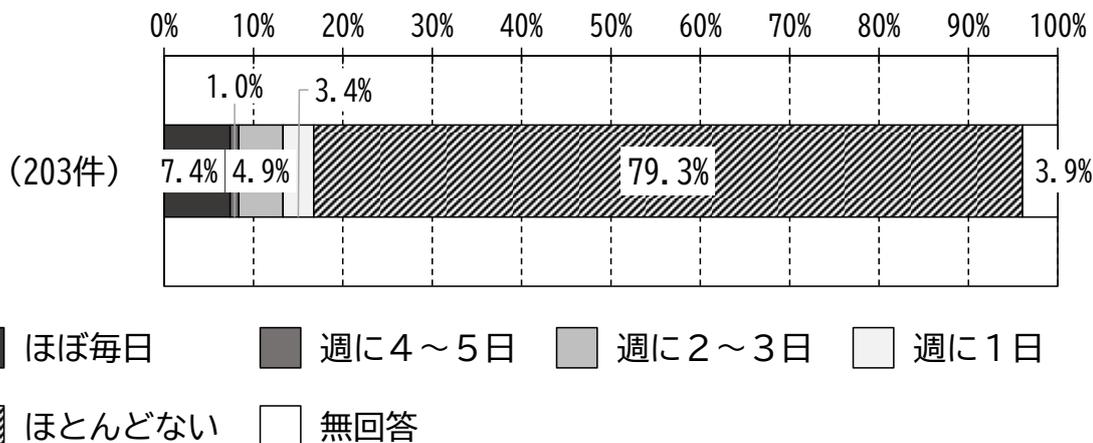
[属性別にみた回答傾向]



学年別にみると、中学2年生では「学校の部活動」が88.8%と圧倒的に多くなっています。

(4) 孤食の有無

問7 晩ごはんをひとりだけ（またはきょうだいなどの子どもだけ）で食べることがありますか。（〇は1つ）



晩ごはんをひとりだけで食べる状況については8割が「ほとんどない」(79.3%)としています。一方で、「ほぼ毎日」という回答も7.4%となっています。

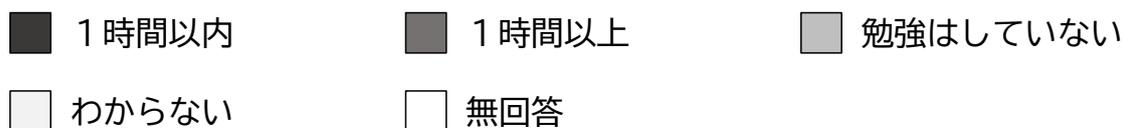
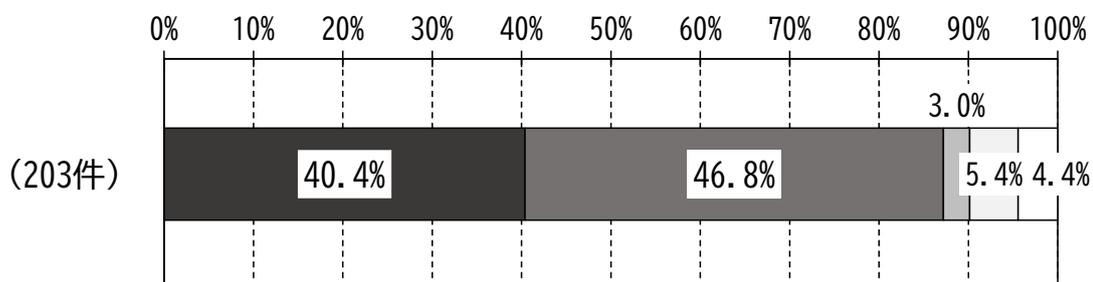
[属性別にみた回答傾向]

		n	ほぼ毎日	週に4～5日	週に2～3日	週に1日	ほとんどない	無回答
全体		100.0%	7.4%	1.0%	4.9%	3.4%	79.3%	3.9%
		203件	15件	2件	10件	7件	161件	8件
対象児童生徒の学年	小学5年生	100.0%	6.3%	0.0%	2.1%	4.2%	87.5%	0.0%
		96件	6件	0件	2件	4件	84件	0件
	中学2年生	100.0%	9.2%	2.0%	8.2%	3.1%	77.6%	0.0%
		98件	9件	2件	8件	3件	76件	0件

学年別にみると、「ほぼ毎日」という回答は小学5年生で6.3%、中学2年生で9.2%と、中学生の方が割合が高くなっています。

(5) 家庭での学習時間

問8 あなたは、1日にどのくらい家で勉強（家庭学習）をしていますか。（〇は1つ）



1日の家庭での学習時間については、「1時間以上」が46.8%でもっとも多くなっています。

[属性別にみた回答傾向]

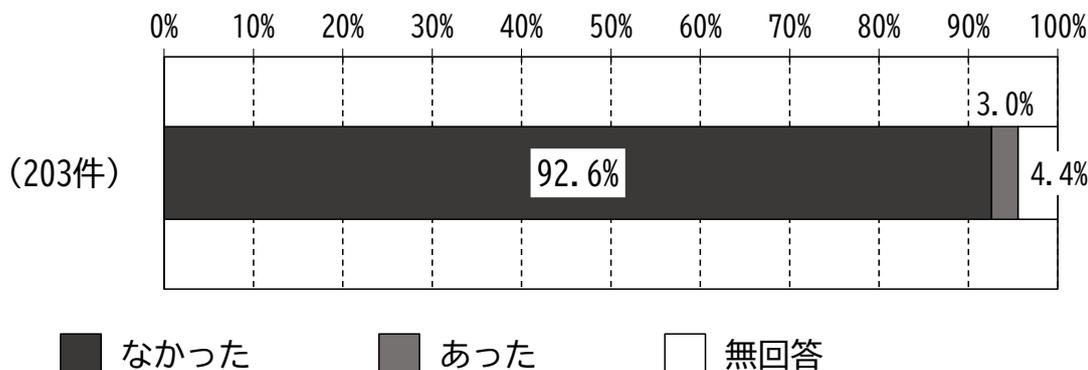
		n	1時間以内	1時間以上	勉強はして いない	わからない	無回答
全体		100.0%	40.4%	46.8%	3.0%	5.4%	4.4%
		203件	82件	95件	6件	11件	9件
対象児童生徒 の学年	小学5年生	100.0%	55.2%	33.3%	3.1%	8.3%	0.0%
		96件	53件	32件	3件	8件	0件
	中学2年生	100.0%	29.6%	63.3%	3.1%	3.1%	1.0%
		98件	29件	62件	3件	3件	1件

学年別にみると、小学5年生では「1時間以内」(55.2%)が、中学2年生では「1時間以上」(63.3%)がもっとも多くなっています。

(6) 家族等の世話や仕事の手伝いなどの状況

①ヤングケアラーの可能性ある児童生徒の有無

問9 あなたは家族や親せきのお世話や仕事の手伝いなどを行うことで、学校に行けなかったり、自分の遊び時間や勉強時間を減らさなければならなかったことがありましたか。
(〇は1つ)



何らかのケアのために学校に行けなくなったり、自分の時間が削られたりした経験については大半の人が「なかった」(92.6%)としています。

一方、「あった」という回答も3.0%となっています。

[属性別にみた回答傾向]

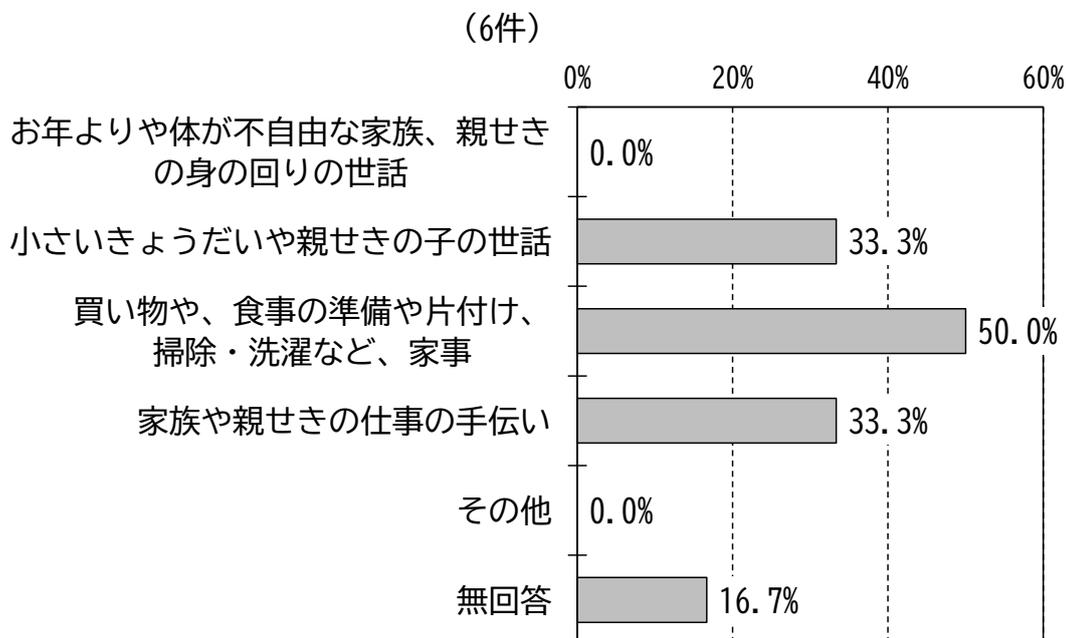
		n	なかった	あった	無回答
全体		100.0% 203件	92.6% 188件	3.0% 6件	4.4% 9件
対象児童生徒の学年	小学5年生	100.0% 96件	96.9% 93件	2.1% 2件	1.0% 1件
	中学2年生	100.0% 98件	95.9% 94件	4.1% 4件	0.0% 0件
世帯の状況	父母(祖父母等と同居していない)	100.0% 81件	90.1% 73件	4.9% 4件	4.9% 4件
	父母(祖父母等と同居している)	100.0% 96件	94.8% 91件	2.1% 2件	3.1% 3件
	ひとり親世帯(祖父母等と同居していない)	100.0% 6件	83.3% 5件	0.0% 0件	16.7% 1件
	ひとり親世帯(祖父母等と同居している)	100.0% 14件	100.0% 14件	0.0% 0件	0.0% 0件
	その他	100.0% 3件	100.0% 3件	0.0% 0件	0.0% 0件

学年別にみると、「あった」という回答は中学2年生の方がやや割合が高く、世帯状況別では祖父母と同居していないらたり親世帯で割合がやや高くなっています。

②自分の時間を減らさなければならなかった理由

☆「2. あった」と回答された方にかかいます。

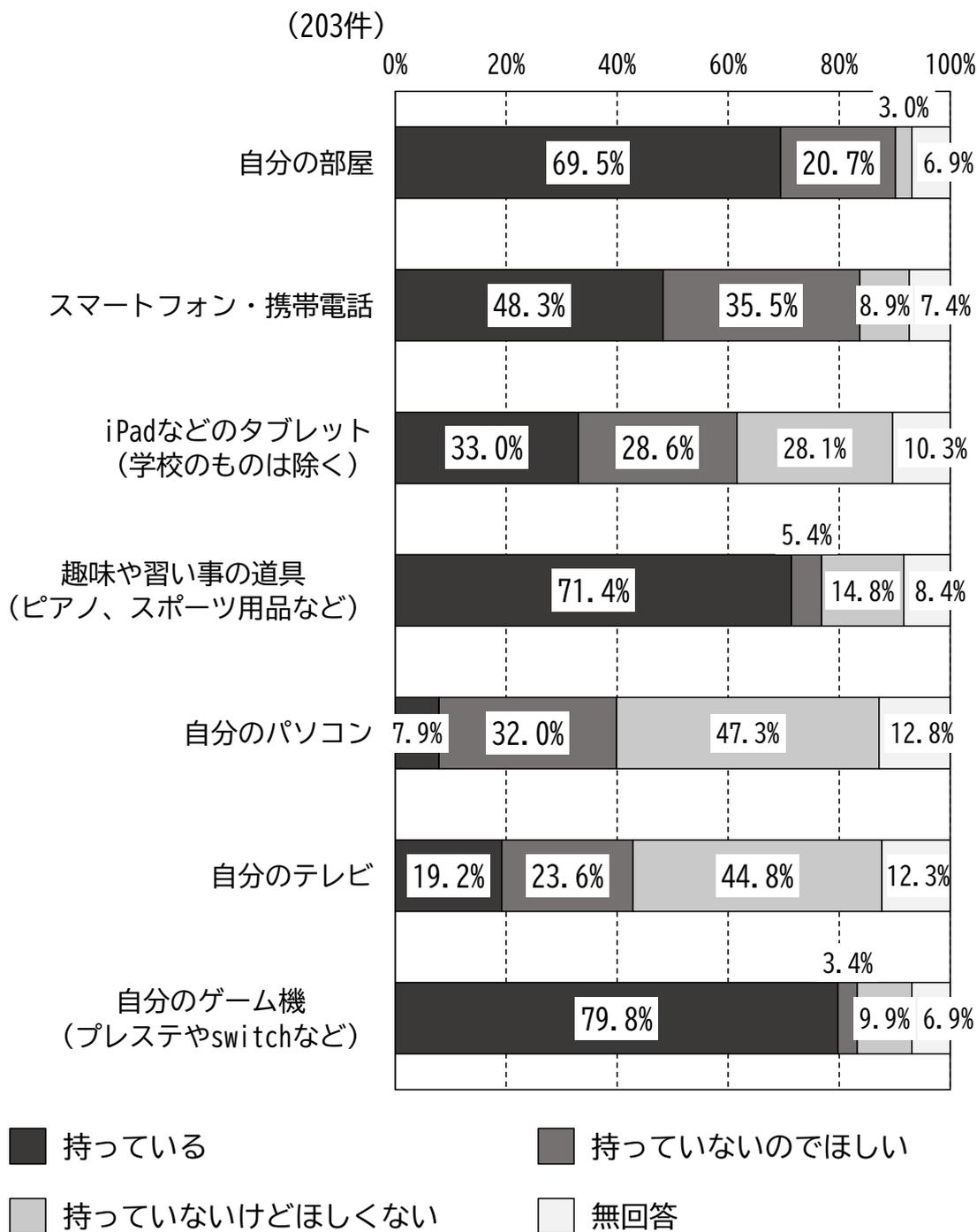
問10 自分の時間を減らさなければならなかったのは、どのようなことのためでしたか。(〇はいくつでも)



自分の時間を減らさなければならなかったという人にどのような理由だったのかについて聞くと、「買い物や、食事の準備や片付け、掃除・洗濯など、家事」が多く挙げられています。

(7) 児童生徒の生活環境

問11 あなたは下の表に書いてあるものを持っていますか。(それぞれ〇は1つ)



生活用品等の所持状況を見ると、「自分のゲーム機(プレステやswitchなど)」(79.8%)、「趣味や習い事の道具(ピアノ、スポーツ用品など)」(71.4%)、「自分の部屋」(69.5%)についてはおおむね7割以上が「持っている」としています。

「スマートフォン・携帯電話」については35.5%が、「自分のパソコン」については32.0%が「持っていないのでほしい」としています。

[属性別にみた回答傾向]

		n	自分の部屋	スマートフォン・携帯電話	iPadなどのタブレット	趣味や習い事の道具	自分のパソコン	自分のテレビ	自分のゲーム機
全体		100.0%	69.5%	48.3%	33.0%	71.4%	7.9%	19.2%	79.8%
		203件	141件	98件	67件	145件	16件	39件	162件
対象児童生徒の学年	小学5年生	100.0%	68.8%	31.3%	34.4%	72.9%	6.3%	13.5%	82.3%
		96件	66件	30件	33件	70件	6件	13件	79件
中学2年生	100.0%	75.5%	68.4%	34.7%	75.5%	10.2%	26.5%	84.7%	
	98件	74件	67件	34件	74件	10件	26件	83件	
世帯の年収額	250万円未満	100.0%	75.0%	68.8%	37.5%	62.5%	6.3%	25.0%	81.3%
		16件	12件	11件	6件	10件	1件	4件	13件
	250～500万円未満	100.0%	67.4%	39.5%	37.2%	48.8%	7.0%	18.6%	86.0%
		43件	29件	17件	16件	21件	3件	8件	37件
	500～750万円未満	100.0%	74.1%	50.0%	29.6%	81.5%	7.4%	13.0%	77.8%
		54件	40件	27件	16件	44件	4件	7件	42件
750～1,000万円未満	100.0%	62.5%	41.7%	33.3%	79.2%	0.0%	8.3%	75.0%	
	24件	15件	10件	8件	19件	0件	2件	18件	
1,000万円以上	100.0%	75.0%	41.7%	33.3%	83.3%	25.0%	33.3%	58.3%	
	12件	9件	5件	4件	10件	3件	4件	7件	
生活レベル	レベル1	100.0%	62.5%	42.2%	32.8%	57.8%	3.1%	14.1%	73.4%
		64件	40件	27件	21件	37件	2件	9件	47件
	レベル2	100.0%	75.0%	66.7%	33.3%	70.8%	8.3%	41.7%	83.3%
	24件	18件	16件	8件	17件	2件	10件	20件	
レベル3	100.0%	72.0%	45.8%	32.7%	79.4%	9.3%	14.0%	81.3%	
	107件	77件	49件	35件	85件	10件	15件	87件	

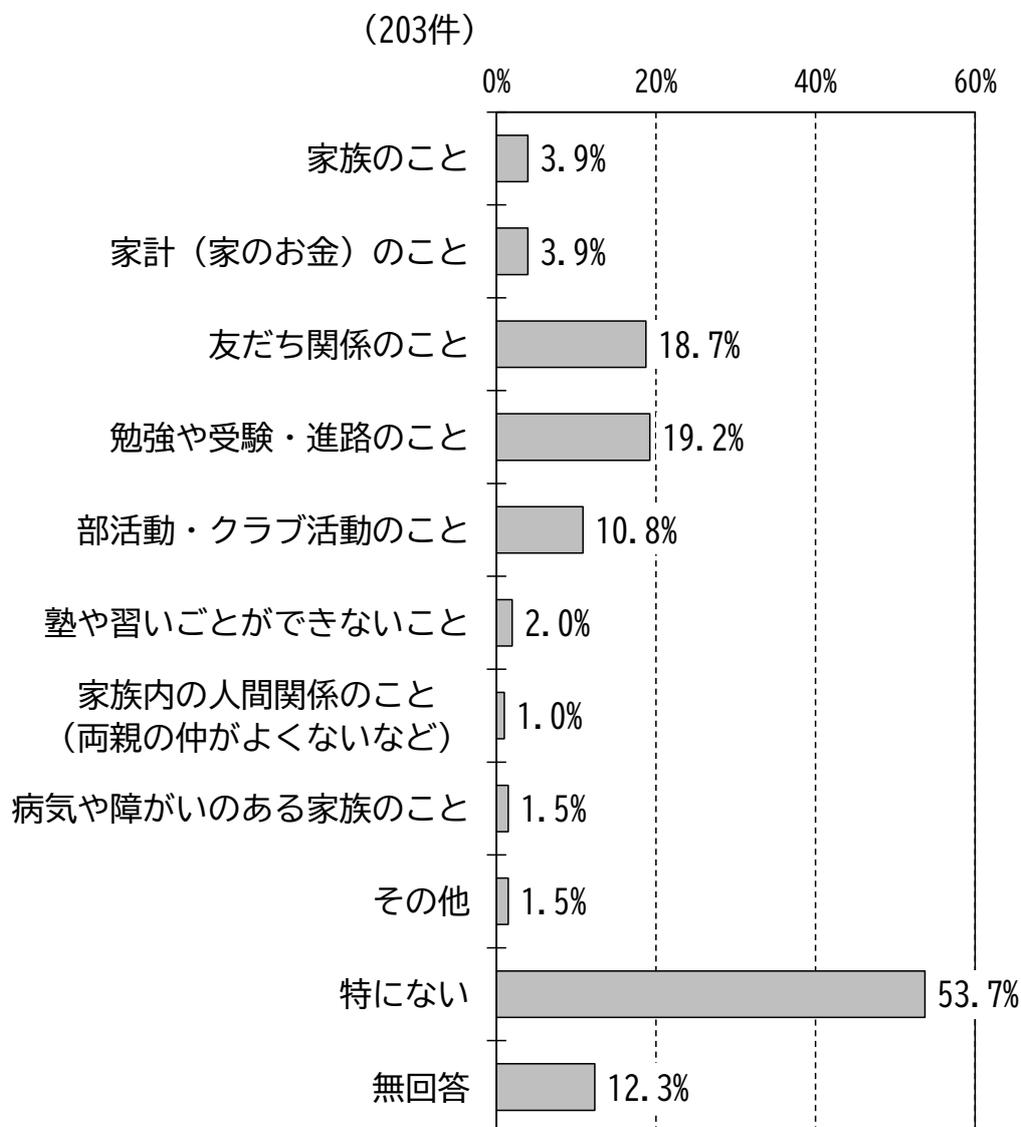
持っているという回答について属性別にみると、おおむね7割以上が持っているとして「自分のゲーム機(プレステやswitchなど)」、「趣味や習い事の道具(ピアノ、スポーツ用品など)」、「自分の部屋」について、生活レベル別では生活レベル1において回答の割合が他のレベルよりも低くなっています。

世帯の年収別では世帯年収が低いほど所有率が低下するという傾向はみられませんが、「趣味や習い事の道具(ピアノ、スポーツ用品など)」については500万円未満の層では500万円以上の層よりも持っているという回答の割合がやや低くなっています。

3. 自分の気持ちや悩みごと

(1) 困っていることや悩みごと

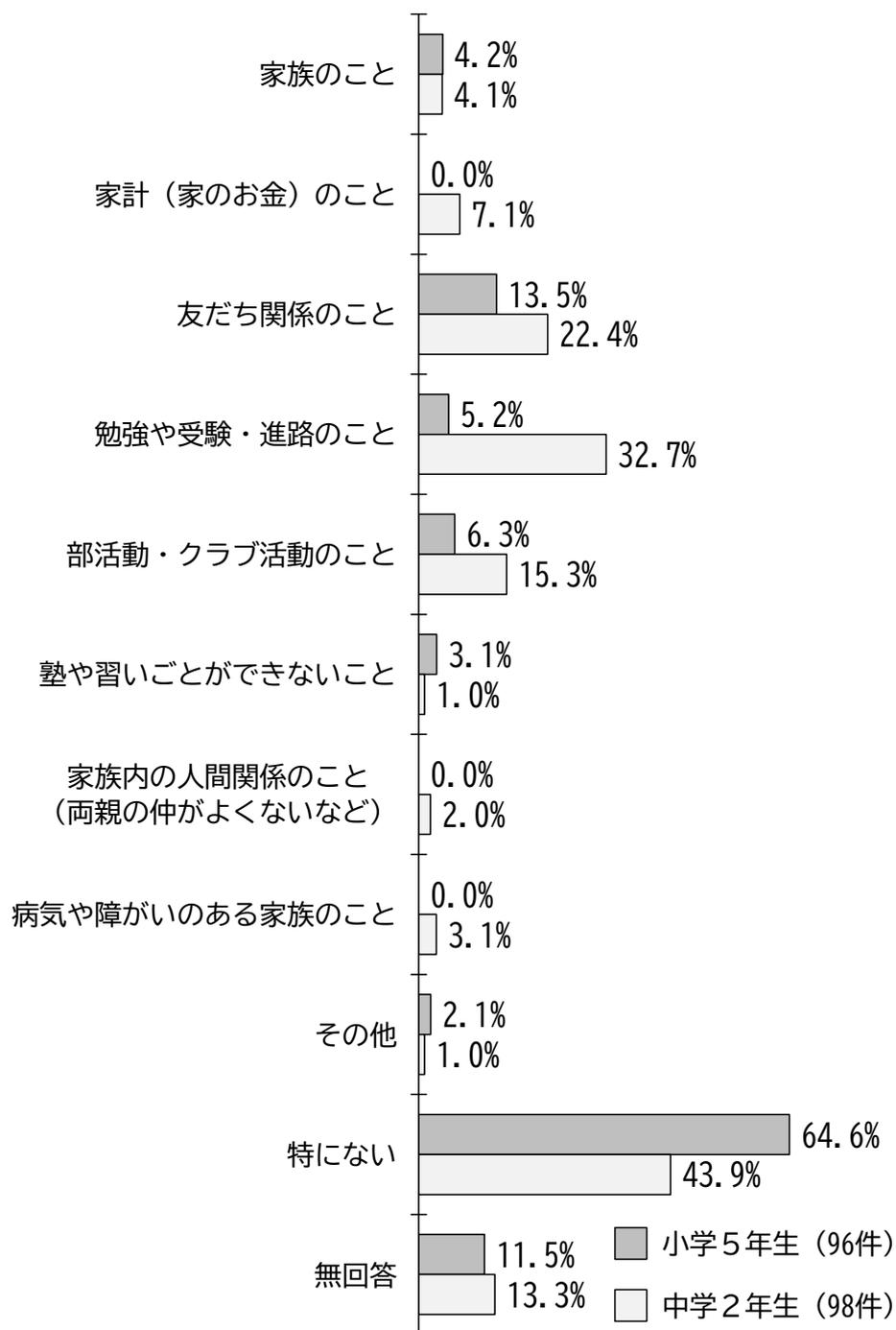
問12 あなたは今、困っていることや悩んでいることはありますか。あてはまるものを教えてください。(〇はいくつでも)



今困っていることについては「特にない」が53.7%と半数以上を占めています。

困っていることとしては、「勉強や受験・進路のこと」(19.2%)、「友だち関係のこと」(18.7%)などが挙げられています。

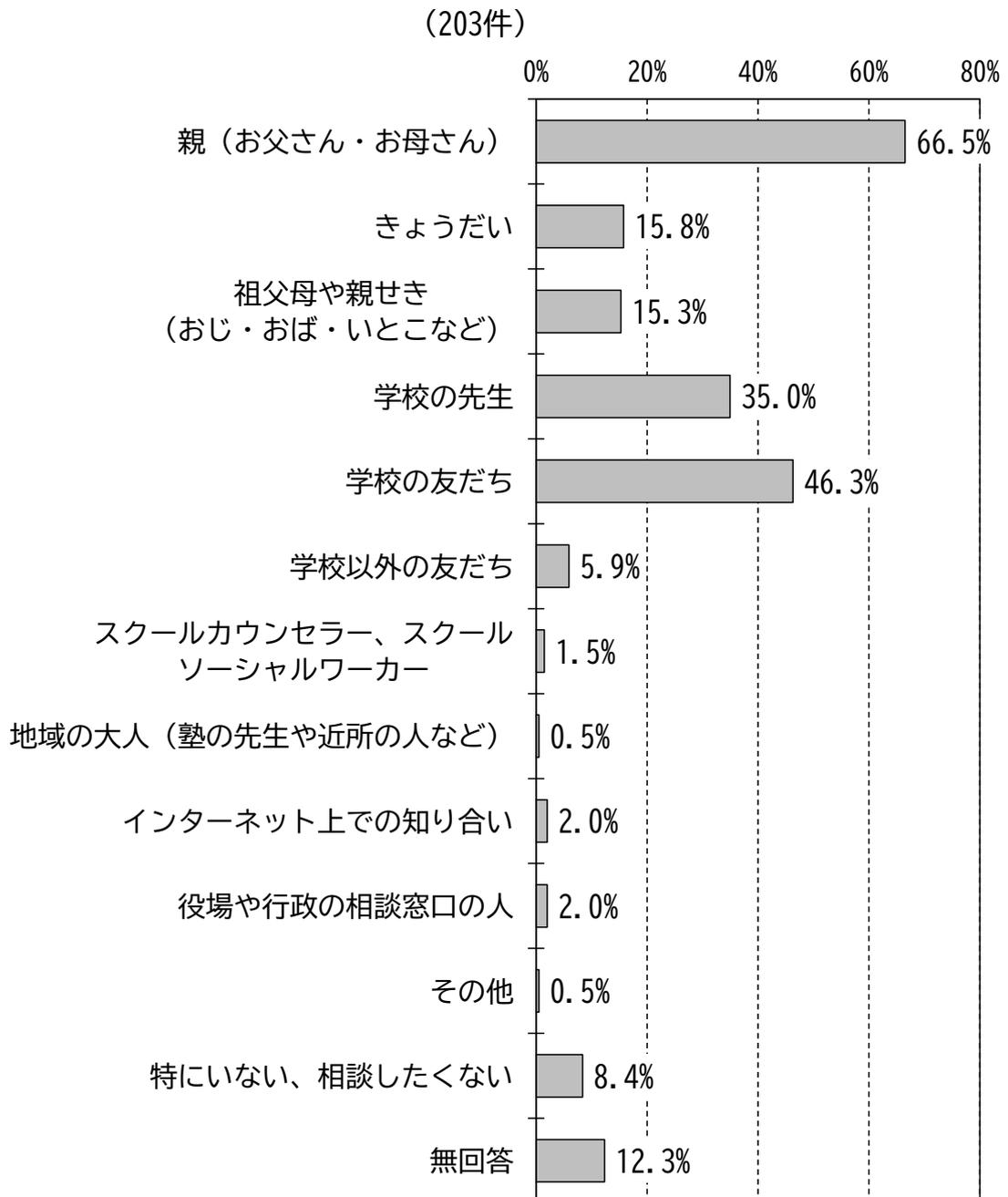
[属性別にみた回答傾向]



学年別にみると、小学5年生の方が「特にない」(64.6%)という回答の割合が高く、「勉強や受験・進路のこと」(32.7%)、「友だち関係のこと」(22.4%)については中学2年生の方が困っているという回答の割合が高くなっています。中学2年生ではその他に「部活動・クラブ活動のこと」への回答も15.3%となっています。

(2) 悩みごとの相談相手

問13 困っていることや悩んでいることがあったとき、誰に相談しようと思いますか (〇はいくつでも)



困っていることがあった場合の相談相手としては、「親 (お父さん・お母さん)」が66.5%で最も多くなっています。

その他に「学校の友だち」(46.3%)、「学校の先生」(35.0%)などが挙げられています。

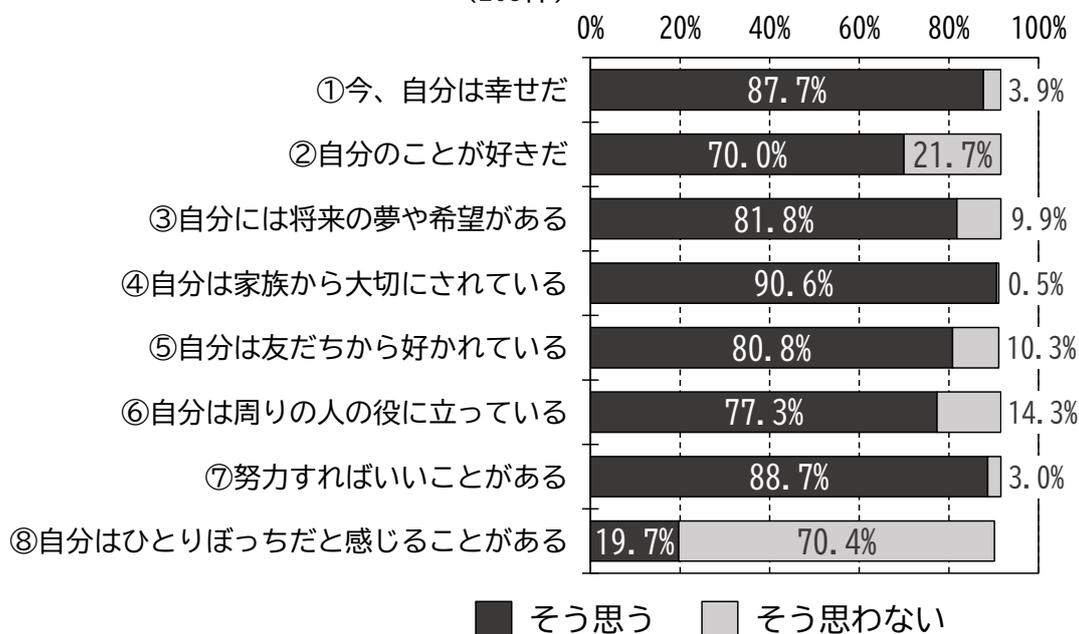
(3) 自分についての評価

①自己評価

問14 あなたは自分のことについてどのように思っていますか。(それぞれ〇は1つ)

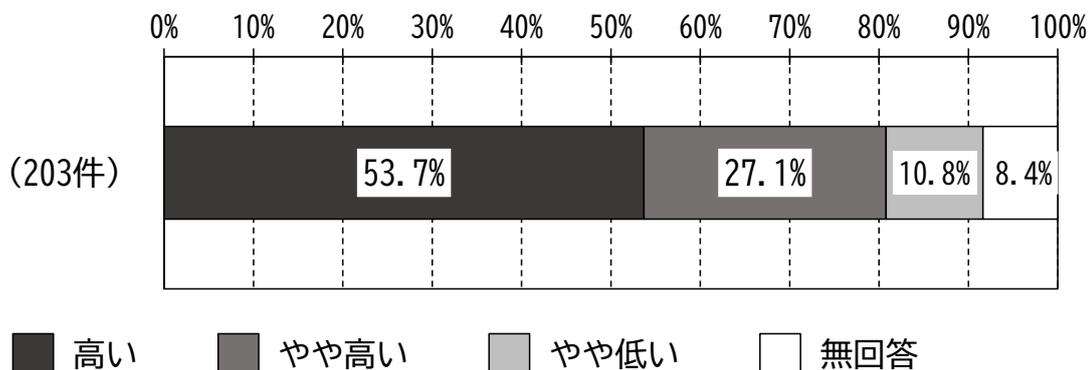
	n	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
①今、自分は幸せだ	100.0% 203件	57.6% 117件	30.0% 61件	3.4% 7件	0.5% 1件	8.4% 17件
②自分のことが好きだ	100.0% 203件	36.9% 75件	33.0% 67件	15.8% 32件	5.9% 12件	8.4% 17件
③自分には将来の夢や希望がある	100.0% 203件	58.1% 118件	23.6% 48件	8.4% 17件	1.5% 3件	8.4% 17件
④自分は家族から大切にされている	100.0% 203件	74.4% 151件	16.3% 33件	0.5% 1件	0.0% 0件	8.9% 18件
⑤自分は友だちから好かれている	100.0% 203件	41.4% 84件	39.4% 80件	8.9% 18件	1.5% 3件	8.9% 18件
⑥自分は周りの人の役に立っている	100.0% 203件	32.5% 66件	44.8% 91件	10.8% 22件	3.4% 7件	8.4% 17件
⑦努力すればいいことがある	100.0% 203件	69.5% 141件	19.2% 39件	2.0% 4件	1.0% 2件	8.4% 17件
⑧自分はひとりぼっちだと感じることもある	100.0% 203件	9.4% 19件	10.3% 21件	25.1% 51件	45.3% 92件	9.9% 20件

(203件)



自分のことについて、“そう思う”（「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」）という回答をみると、⑧自分はひとりぼっちだと感じることもあるを除いていずれも7～9割が“そう思う”としています。

②自己肯定感



高 い：①②④⑤⑥いずれも「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」
 また、⑧で「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」を選択
 やや高い：①②④⑤⑥で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」または
 ⑧で「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」のいずれか4項目以上を選択
 やや低い：①②④⑤⑥で「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」または
 ⑧で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」のいずれか3項目以上を選択

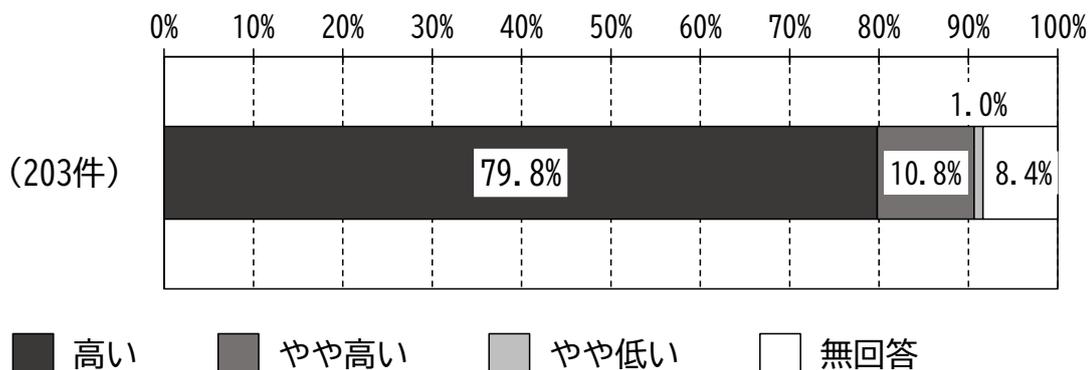
①～⑧の項目について、自己肯定感に関するものを整理したところ、自己肯定感が「高い」人は53.7%と半数以上を占めており、「やや高い」(27.1%)とあわせると6割以上は自分のことを肯定的に捉えています。

【属性別にみた回答傾向】

		n	高い	やや高い	やや低い	無回答
全体		100.0% 203件	53.7% 109件	27.1% 55件	10.8% 22件	8.4% 17件
対象児童生徒の学年	小学5年生	100.0% 96件	59.4% 57件	24.0% 23件	11.5% 11件	5.2% 5件
	中学2年生	100.0% 98件	51.0% 50件	27.6% 27件	10.2% 10件	11.2% 11件
世帯の状況	父母(祖父母等と同居していない)	100.0% 81件	54.3% 44件	25.9% 21件	9.9% 8件	9.9% 8件
	父母(祖父母等と同居している)	100.0% 96件	53.1% 51件	27.1% 26件	13.5% 13件	6.3% 6件
	ひとり親世帯(祖父母等と同居していない)	100.0% 6件	16.7% 1件	66.7% 4件	16.7% 1件	0.0% 0件
	ひとり親世帯(祖父母等と同居している)	100.0% 14件	64.3% 9件	21.4% 3件	0.0% 0件	14.3% 2件
	その他	100.0% 3件	100.0% 3件	0.0% 0件	0.0% 0件	0.0% 0件
	その他	100.0% 3件	100.0% 3件	0.0% 0件	0.0% 0件	0.0% 0件

属性別にみると、祖父母等と同居していないひとり親世帯では「高い」人の割合が他の世帯に比べて低くなっています。

③自己効力感



高い：③⑦ともに「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を選択
 やや高い：③⑦のどちらかで「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を選択
 やや低い：③⑦ともに「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」を選択

①～⑧の項目について、自己効力感に関するものを整理したところ、自己効力感が「高い」人は79.8%とほぼ8割を占めています。「やや高い」とあわせると9割程度が自分の可能性を前向きに捉え、自分ならなんとかできると考えているものと思われます。

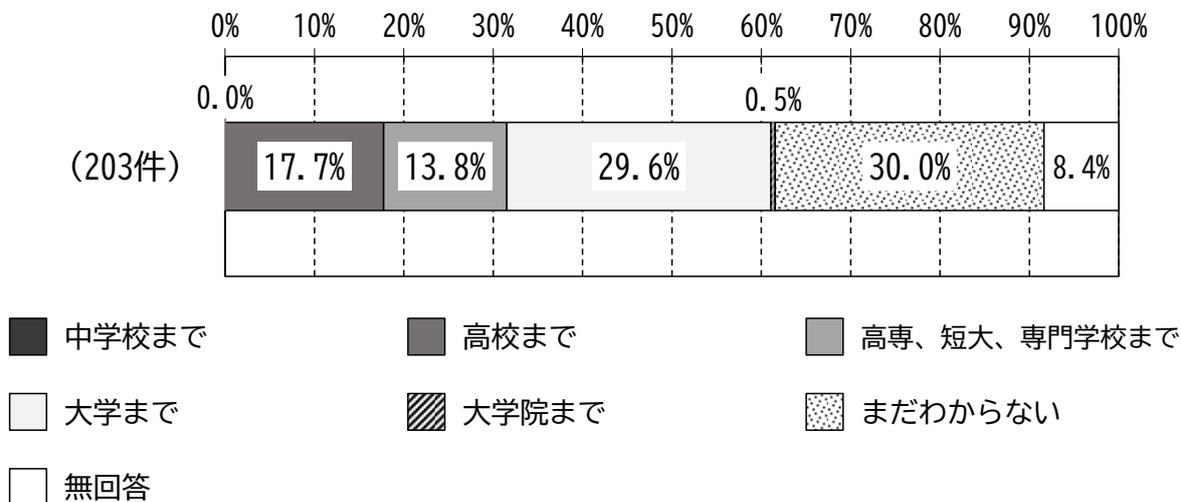
[属性別にみた回答傾向]

		n	高い	やや高い	やや低い	無回答
全体		100.0%	79.8%	10.8%	1.0%	8.4%
		203件	162件	22件	2件	17件
対象児童生徒の学年	小学5年生	100.0%	85.4%	7.3%	2.1%	5.2%
		96件	82件	7件	2件	5件
対象児童生徒の学年	中学2年生	100.0%	73.5%	15.3%	0.0%	11.2%
		98件	72件	15件	0件	11件
世帯の状況	父母(祖父母と同居していない)	100.0%	79.0%	8.6%	2.5%	9.9%
		81件	64件	7件	2件	8件
	父母(祖父母等と同居している)	100.0%	82.3%	11.5%	0.0%	6.3%
		96件	79件	11件	0件	6件
	ひとり親世帯(祖父母等と同居していない)	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	6件	3件	3件	0件	0件	
ひとり親世帯(祖父母等と同居している)	100.0%	85.7%	0.0%	0.0%	14.3%	
	14件	12件	0件	0件	2件	
その他	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	
	3件	2件	1件	0件	0件	

属性別にみると、祖父母等と同居していないひとり親世帯では「高い」人の割合が他の世帯に比べて低くなっています。

(4) 将来の進学希望段階

問15 将来どこまで進学したいと考えていますか。(〇は1つ)



将来の進学希望をみると、「まだわからない」が30.0%となっていますが、具体的な進学希望としては「大学まで」が29.6%でもっとも多くなっています。

「高校まで」(17.7%)、「高専、短大、専門学校まで」(13.8%)とそれぞれ1割台を占めています。

[属性別にみた回答傾向]

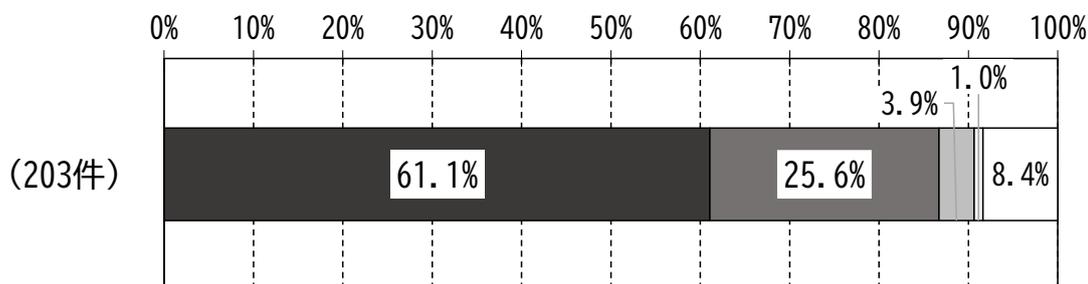
		n	中学校まで	高校まで	高専、短大、専門学校まで	大学まで	大学院まで	まだわからない	無回答
全体		203件	0.0%	17.7%	13.8%	29.6%	0.5%	30.0%	8.4%
対象児童生徒の学年	小学5年生	96件	0.0%	21.9%	10.4%	26.0%	1.0%	36.5%	4.2%
	中学2年生	98件	0.0%	13.3%	18.4%	33.7%	0.0%	22.4%	12.2%
世帯の年収額	250万円未満	16件	0.0%	6.3%	25.0%	18.8%	0.0%	31.3%	18.8%
	250～500万円未満	43件	0.0%	27.9%	18.6%	23.3%	0.0%	27.9%	2.3%
	500～750万円未満	54件	0.0%	20.4%	13.0%	31.5%	0.0%	27.8%	7.4%
	750～1,000万円未満	24件	0.0%	4.2%	16.7%	37.5%	0.0%	29.2%	12.5%
	1,000万円以上	12件	0.0%	8.3%	8.3%	66.7%	0.0%	8.3%	8.3%

属性別にみると、「大学まで」という回答は世帯年収が低いほど回答割合が低くなっており、250万円未満の世帯では18.8%にとどまっています。

250万円未満の世帯では「高専、短大、専門学校まで」が25.0%で250万円以上の世帯よりも回答割合が高くなっています。

(5) 社会貢献への意向

問16 あなたは社会のために役に立つことをしたいと思いますか。(〇は1つ)



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- 思わない
- 無回答

社会のために役立ちたいかについては、「そう思う」が61.1%と6割を超えており、「どちらかといえばそう思う」(25.6%)とあわせると、8割以上が社会のために役立ちたいとしています。

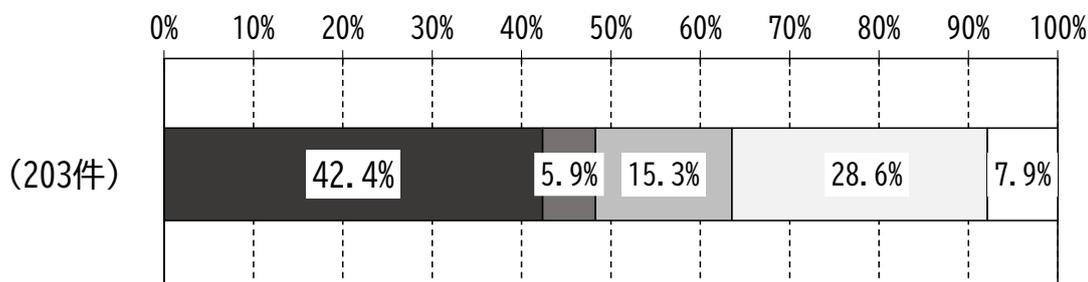
[属性別にみた回答傾向]

		n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	思わない	無回答
全体		100.0% 203件	61.1% 124件	25.6% 52件	3.9% 8件	1.0% 2件	8.4% 17件
対象児童生徒 の学年	小学5年生	100.0% 96件	59.4% 57件	27.1% 26件	6.3% 6件	2.1% 2件	5.2% 5件
	中学2年生	100.0% 98件	64.3% 63件	22.4% 22件	2.0% 2件	0.0% 0件	11.2% 11件
自己肯定感	高い	100.0% 109件	78.9% 86件	19.3% 21件	0.9% 1件	0.0% 0件	0.9% 1件
	やや高い	100.0% 55件	50.9% 28件	40.0% 22件	9.1% 5件	0.0% 0件	0.0% 0件
	やや低い	100.0% 22件	45.5% 10件	36.4% 8件	9.1% 2件	9.1% 2件	0.0% 0件
自己効力感	高い	100.0% 162件	71.0% 115件	25.9% 42件	1.9% 3件	0.6% 1件	0.6% 1件
	やや高い	100.0% 22件	40.9% 9件	40.9% 9件	18.2% 4件	0.0% 0件	0.0% 0件
	やや低い	100.0% 2件	0.0% 0件	0.0% 0件	50.0% 1件	50.0% 1件	0.0% 0件

属性別にみると、自己肯定感や自己効力感が高い人ほど「そう思う」という回答の割合が高くなっています。

(6) 町への定住意向

問17 あなたは大きくなってからも美郷町に住みたいと思いますか。(〇は1つ)



- 住みたいと思っている
- あまり住みたくない
- できれば他のまちに住みたい
- わからない
- 無回答

本町への定住意向をみると、「住みたいと思っている」が42.4%でもっとも多くなっています。一方、「あまり住みたくない」(5.9%)、「できれば他のまちに住みたい」(15.3%)という住みたくないという回答も2割程度を占めています。

[属性別にみた回答傾向]

		n	住みたいと思っている	あまり住みたくない	できれば他のまちに住みたい	わからない	無回答
		100.0%	42.4%	5.9%	15.3%	28.6%	7.9%
		203件	86件	12件	31件	58件	16件
対象児童生徒の学年	小学5年生	100.0%	51.0%	4.2%	14.6%	26.0%	4.2%
		96件	49件	4件	14件	25件	4件
中学2年生	100.0%	35.7%	7.1%	16.3%	29.6%	11.2%	
	98件	35件	7件	16件	29件	11件	
居住地区	千畑地区	100.0%	48.5%	2.9%	11.8%	27.9%	8.8%
		68件	33件	2件	8件	19件	6件
	六郷地区	100.0%	32.3%	4.8%	19.4%	32.3%	11.3%
	62件	20件	3件	12件	20件	7件	
仙南地区	100.0%	45.7%	10.0%	15.7%	25.7%	2.9%	
	70件	32件	7件	11件	18件	2件	

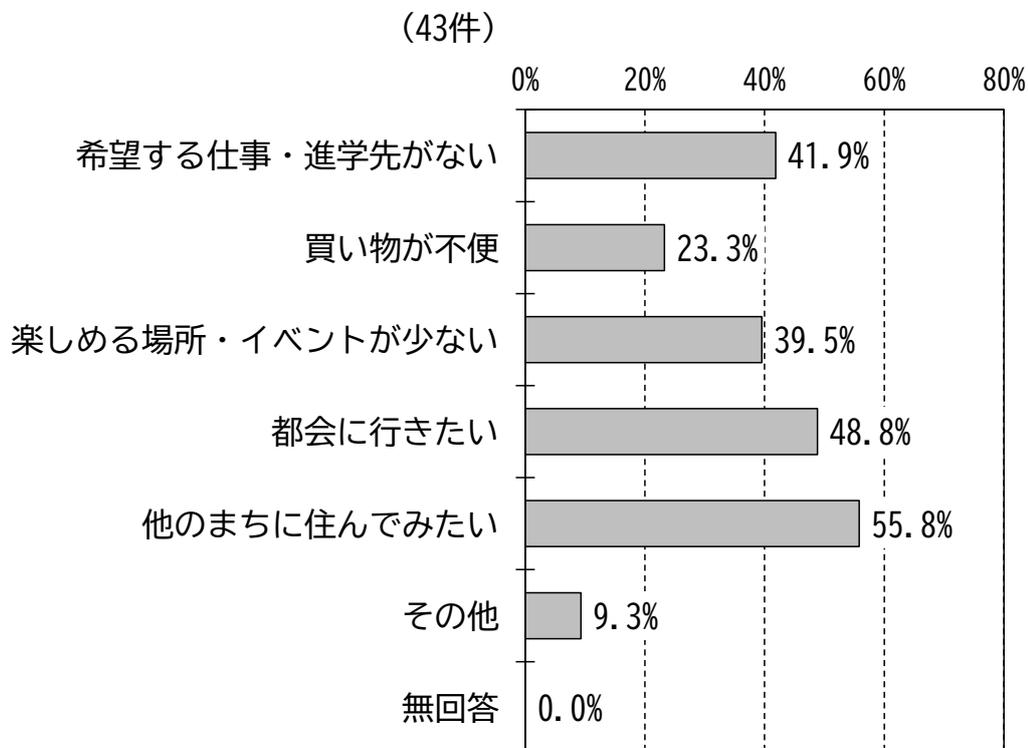
属性別にみると、「住みたいと思っている」という回答は中学2年生では35.7%にとどまり、六郷地区においても32.3%にとどまっています。

「あまり住みたくない」、「できれば他のまちに住みたい」という住みたくないという回答は仙南地区では25.7%で他の地区よりもやや割合がたくなっています。

(7) 美郷町に住みたくない理由

☆「2. あまり住みたくない」、「3. できれば他のまちに住みたい」と回答された方にうかがいます。

問18 大きくなってから美郷町に住みたくない理由を教えてください。(〇はいくつでも)



本町に住みたくないという人にその理由を聞くと、「他のまちに住んでみたい」が55.8%でもっとも多く、ついで「都会に行きたい」(48.8%)、「希望する仕事・進学先がない」(41.9%)などが挙げられています。

[属性別にみた回答傾向]

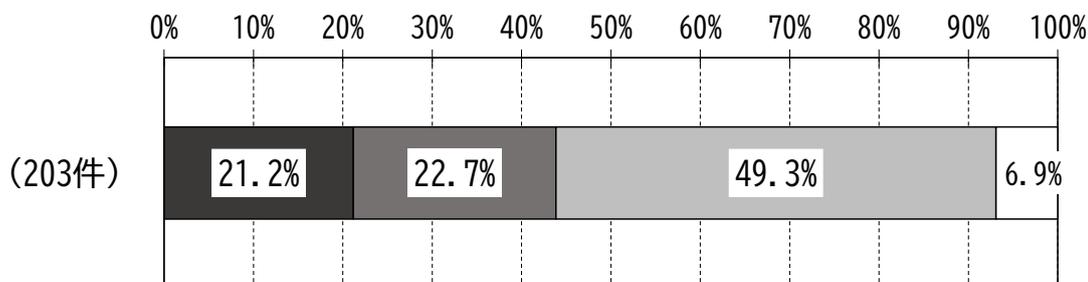
		n	希望する仕事・進学先がない	買い物が不便	楽しめる場所・イベントが少ない	都会に行きたい	他のまちに住んでみたい	その他	無回答	
全体		43件	41.9%	23.3%	39.5%	48.8%	55.8%	9.3%	0.0%	
対象児童生徒の学年	小学5年生		100.0%	38.9%	27.8%	50.0%	50.0%	61.1%	5.6%	0.0%
		18件	7件	5件	9件	9件	11件	1件	0件	
	中学2年生		100.0%	43.5%	21.7%	34.8%	47.8%	52.2%	8.7%	0.0%
		23件	10件	5件	8件	11件	12件	2件	0件	

学年別にみると、「希望する仕事・進学先がない」という回答割合は中学2年生の方が高くなっています。

4. 子どもが意見を表明する権利について

(1) 認知状況

問19 あなたは、すべての子どもには『意見を表明する権利』（子どもが、自分に関係あることについて自由に意見を表すことができる権利があるということを知っていますか。
(〇は1つ)



■ 知っている

■ 聞いたことがあるが内容はよくわからない

■ 知らない

□ 無回答

すべての子どもには『意見を表明する権利』があるということについて、「知らない」という回答が49.3%と半数程度を占めています。

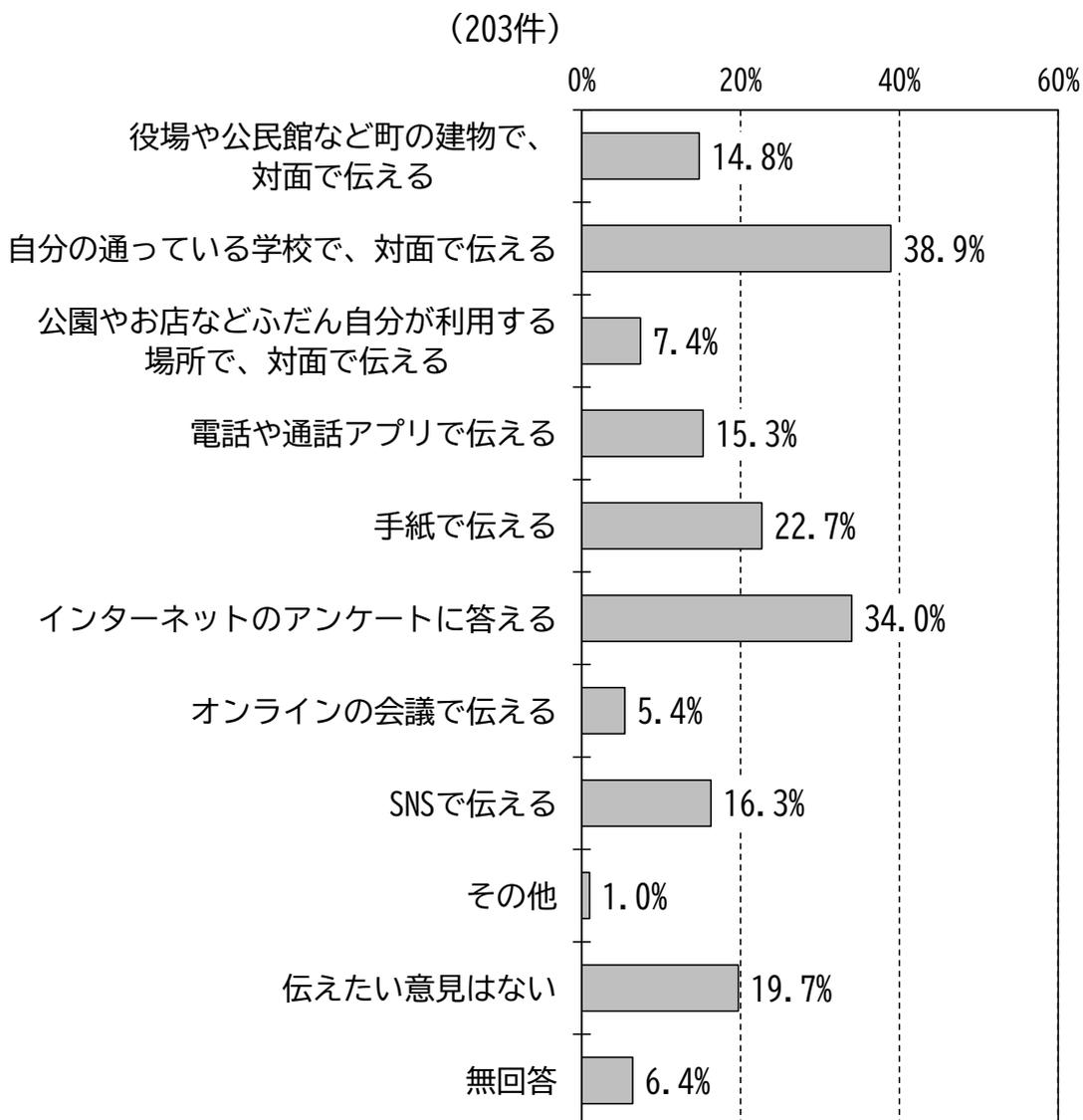
[属性別にみた回答傾向]

		n	知っている	聞いたことがあるが内容はよくわからない	知らない	無回答
全体		100.0%	21.2%	22.7%	49.3%	6.9%
		203件	43件	46件	100件	14件
対象児童生徒の学年	小学5年生	100.0%	20.8%	19.8%	57.3%	2.1%
		96件	20件	19件	55件	2件
	中学2年生	100.0%	22.4%	24.5%	42.9%	10.2%
		98件	22件	24件	42件	10件
居住地区	千畑地区	100.0%	20.6%	27.9%	42.6%	8.8%
		68件	14件	19件	29件	6件
	六郷地区	100.0%	27.4%	19.4%	45.2%	8.1%
	62件	17件	12件	28件	5件	
	仙南地区	100.0%	17.1%	20.0%	60.0%	2.9%
	70件	12件	14件	42件	2件	

属性別にみると、小学5年生の方が「知らない」という回答の割合が高く、居住地区別では仙南地区で他の地区よりも「知らない」という回答の割合が高くなっています。

(2) 自分の意見を伝えやすい場所

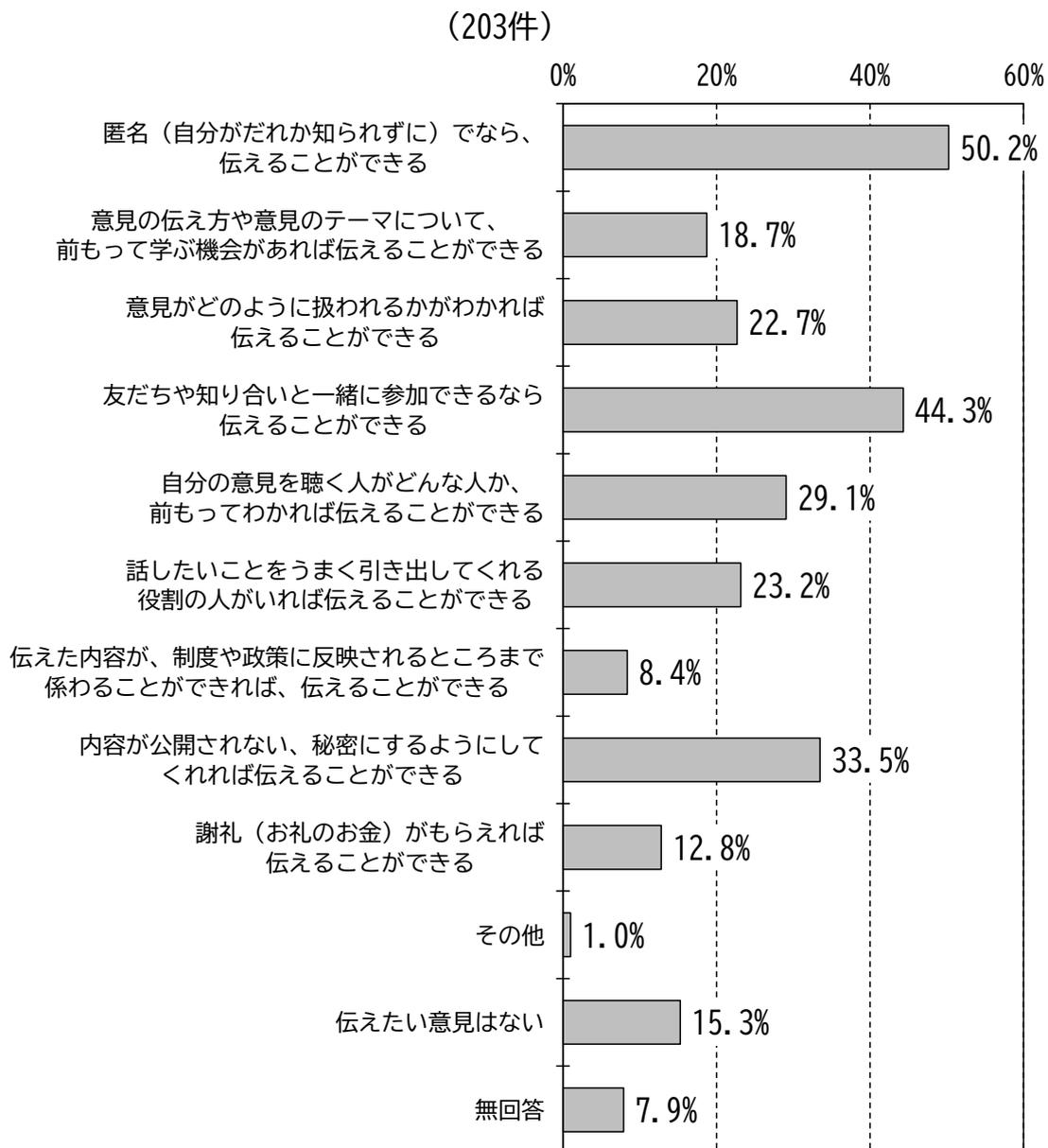
問20 美郷町（役場）では、子どものみなさんが自分の意見を言いやすい環境を作りたいと考えています。あなたはどんな場所であれば、自分の意見を伝えやすいと思いますか。（〇はいくつでも）



自分の意見を伝えやすい場所（環境）としては、「自分の通っている学校で、対面で伝える」（38.9%）、「インターネットのアンケートに答える」（34.0%）などへの回答が多くなっています。

(3) 自分の意見を伝えやすくするための工夫やルール

問21 あなたはどんな工夫やルールがあれば、自分の意見を伝えやすいと思いますか。
(〇はいくつでも)



自分の意見を伝えやすくするためには、「匿名 (自分がだれか知られずに) でなら、伝えることができる」が50.2%でもっとも多く、ついで「友だちや知り合いと一緒に参加できるなら伝えることができる」が44.3%となっています。その他に「内容が公開されない、秘密にするようにしてくれれば伝えることができる」が33.5%となっています。

美郷町
子どもの成長環境に関するアンケート
—調査結果報告書—
令和6年10月

編集	美郷町こども子育て課 〒019-1541 秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙 170 番地 10 T E L : 0187-84-4904
----	--